

令和 5 年度

北海道立旭川美術館

ANNUAL REPORT OF HOKKAIDO ASAHIKAWA MUSEUM OF ART

April, 2023 – March, 2024

年報

目次

1 活動方針	1
2 令和5年度の活動概要	2
3 事業日誌	3
4 展覧会事業	
特別展・所蔵品展等一覧	4
4-1 特別展	
笠間日動美術館コレクション 魅惑の西洋近代絵画 モネ、ルノワールからピカソ、マティスまで	5
こころ・おどる・ものがたり～絵本原画・本の宝石・おもちゃ・アート～	12
竹久夢二展～憧れの欧米への旅～	22
蔵出し！木彫の味わい	34
4-2 所蔵品展	
パリへ渡った画家たち	41
アートとデザインの空間 遠藤享展	41
木の匠たち 伝統工芸から家具、クラフトまで	42
北海道美術の1980年代-札幌・旭川に広がる現代美術ネットワーク	43
4-3 貸館	
創立60周年記念 書創展 併催 赤石蘭邦展	52
福瀬餓鬼 米寿記念 [書・墨彩・篆刻] 展	52
5 教育普及事業	
(1) ワークショップ等	53
(2) 博物館実習	54
(3) 連携事業	54
(4) ボランティア活動	55
(5) 協力事業	55
6 美術作品の収集	57
作品目録	59
7 美術作品の修復・貸出	61
(1) 美術作品の修復	61
(2) 美術作品の貸出	61
8 資料・情報	62
9 利用者数一覧等	
(1) 令和5年度観覧者数一覧	65
(2) 令和5年度教育普及事業実施状況・利用者数一覧	66
(3) 令和5年度予算・名簿	69
(4) 沿革	70
(5) 建築設備概要	71
(6) 利用案内	72

1 活動方針

道北地域における文化活動の拠点として、幅広く美術文化を紹介・普及することにより、地域文化に潤いと深みをもたらし、文化創造への活力を高める。

A すぐれた作品の収集と保管

旭川を中心とした道北地域にゆかりのあるすぐれた作品及び木を素材とした造形作品を系統的に収集、保存する。

B 多彩で特色ある展示活動の充実

当館の所蔵品及び国内外のすぐれた作品をさまざまな角度から紹介する展覧会を企画・実施する。また、他の道立美術館との連携のもとに、その所蔵品を紹介する。

C 豊かな人間性を育む学習の場と美術情報の提供

講演会、講座、解説、教員のための鑑賞研修、子ども向け事業等の教育普及活動及び美術に関する情報提供等の事業を推進し、地域の美術文化の振興を図る。

D 活動の基礎となる調査研究の推進

主として「道北の美術」及び「木の造形作品」についての調査研究を行う。また、美術館活動についての研究を行う。

E 地域文化の振興

地域の他の美術館、博物館等との連携を図り、地域文化の活性化に努める。

F 良好な滞在環境の提供

美術鑑賞にふさわしく落ち着いた文化的環境を維持・提供する。

2 令和5年度の活動概要

■近現代・国内外の美術、道内外のコレクション紹介から、5年振りの大規模所蔵品展まで

開館42年目を迎えた本年度、第1展示室では近現代・国内外の美術を幅広く紹介した。ルノワール作品を広報印刷物のメインビジュアルに据えた「魅惑の西洋近代絵画」は人気を博し、14,000人余りの観覧者を集めた。大人から子どもまで幅広い年齢層を対象に開催した自主企画展「こころ・おどる・ものがたり」は、アートギャラリー北海道事業の一環として同事業加盟館である剣淵町絵本の館を含む道内5つの文化施設より優れたコレクションを借用し、一堂に展覧した。「竹久夢二展」では晩年の滞欧・滞米時のスケッチや肉筆画を含む貴重な作品群を展示するとともに、市民実行委員会との協働により関連事業も多数実施し、来館者サービスに努めた。年度最後は第1展示室で5年振りとなる大規模所蔵品展として、「蔵出し！木彫の味わい」を開催。広い空間を生かした展示構成によって多彩な現代造形36点を紹介し、当館の「木の造形」コレクションの魅力に来館者が改めて触れる機会とした。

■第2展示室での展覧会

第2展示室では、令和元年度（2019年度）から継続する年間計画を踏襲し、4本の展覧会を開催した。「パリへ渡った画家たち」は、第1展示室で同時開催した「魅惑の西洋近代絵画」と関連付けた内容とすることで、7,500人を超える観覧者を集めた。続く「遠藤享展」では当館コレクションに作家所蔵の作品を加え、現代日本のグラフィック・デザイン界、版画界に輝かしい軌跡を記してきた旭川ゆかりの作家・遠藤享の表現世界を振り返った。「木の匠たち」では昨年度の新収蔵作品9点を収蔵後、初披露。あわせて伝統木工芸、木工クラフト、家具作品計28点を展示し、木工芸の技と表現を紹介した。「北海道美術の1980年代」では札幌と旭川を中心とした現代美術の動向の一端を取り上げ、学芸員の調査研究の過程を盛り込んだ構成とした。

今後、当館コレクションに多様な角度から光を当てる展示テーマについて模索する一年となった。

■教育普及事業の取組

展覧会関連以外の教育普及事業では、「冬のウッディ★工作アトリエ」について特記しておきたい。本事業は冬季の子ども、親子を対象に木工ワークショップを行うもの。本年度のテーマ「世界にたった一つの木琴をつくろう!!」は北海道旭川農業高等学校と連携し、元々令和4年（2022年）2月に実施予定だったが、コロナ禍のため中止となっていた。高校生は既に新たな学年に入れ替わっていたが、担当教諭の指導によりノウハウは受け継がれ、実現に至った。当日は17組31名の親子と9名の高校生が参加。「蔵出し！木彫の味わい」で展示作品を鑑賞後、それぞれの親子に高校生が付いて、工作補助に応じた。木片の角を紙やすりで擦り、その木に色を塗ったり絵を描くなどして木琴を完成させた後、マレットで叩いて奏でるというシンプルな内容ながら、高校生とともに見て、作って、体を動かし、耳でも音色を確かめるといった楽しい体験の凝縮した有意義なワークショップとなった。

■地域・外部との連携の取組

旭川地域連携アートプロジェクト（通称AAP）の鑑賞プログラムは、毎年継続実施を通じて中学校、教育大学、美術館の連携により実施体制が整理され、円滑に実施された。10代の多感な時期を旭川で送った遠藤享の版画作品を、同年代の中学生がつぶさに鑑賞し、発見や感想を述べ合う姿が印象的だった。その他、学校教育との連携として、北海道おといねっぶ美術工芸高等学校より依頼を受けて、卒業制作発表における講評に新たに取り組んだ。同じ圏域で、美術を専門とする教育機関同士、今後の連携継続が望まれる。

学校教育以外では、「旭川市中央図書館・北海道立旭川美術館コラボレーション」と題し、隣接する旭川市中央図書館と年間を通じて資料・情報の相互提供や講座実施等を行う連携事業を新たに立ち上げた。また旭川デザインウィークと連動して市内ギャラリーで開催された展覧会に作品を貸し出し、市の文化事業と連携するとともに、所蔵作品の積極的な活用にも取り組んだ。

3 事業日誌

月日	事業内容
4.15(土)～6.25(日)	「魅惑の西洋近代絵画」展(第1展示室)
4.15(土)～6.25(日)	「パリへ渡った画家たち」展(第2展示室)
5.9(火)	出前講座(旭川西ロータリークラブ)
5.20(土)	「魅惑の西洋近代絵画」展 30分でわかる！学芸員の見どころ解説(講堂)
5.27(土)	「魅惑の西洋近代絵画」展 特別講演会「知られざる画家の素顔 思い出の作品たち」(講堂)
6.3(土)	「魅惑の西洋近代絵画」展 30分でわかる！学芸員の見どころ解説(講堂)
6.10(土)	「魅惑の西洋近代絵画」展 教員のための鑑賞研修(講堂)
6.13(火)～6.25(日)	「パリへ渡った画家たち」展 ぬりえ配布(第2展示室)
7.6(木)～7.23(日)	「ころ・おどる・ものがたり」展 連動企画(剣淵町絵本の館)
7.8(土)～9.10(日)	「ころ・おどる・ものがたり」展(第1展示室)
7.8(土)～9.10(日)	「遠藤享展」(第2展示室)
7.8(土)	「遠藤享展」 講演会「遠藤享 自作を語る—制作サポートの視点から—」(講堂)
7.13(木)	出前講座(北海道医学技術専門学校)
7.14(金)	「ころ・おどる・ものがたり」展 デモンストレーション(作品をひらく)(第1展示室)
7.25(火)～7.28(金)	旭川地域連携アートプロジェクト[AAP](第1,2展示室)
7.29(土)	「ころ・おどる・ものがたり」展 「絵本の読み聞かせ会」(ロビー)
8/3(木)～8.4(金)	旭川地域連携アートプロジェクト[AAP](第1,2展示室)
8.4(金)	「ころ・おどる・ものがたり」展 教員のための鑑賞研修(講堂)
8.8(火)～8.12(土)	博物館実習
8.11(金・祝)、8.12(日)	夏休み工作アトリエ2023「すてきなじどうしゃ“○○さん”をつくろう！」(講堂)
8.18(金)	「ころ・おどる・ものがたり」展 デモンストレーション(作品をひらく)(第1展示室)
8.26(土)	「ころ・おどる・ものがたり」展 絵本の読み聞かせ会(ロビー)
9.6(水)	オンラインアート教室「旭美探訪」(ロビー等)
9.7(木)	オンラインアート教室「大きなたまごの魅力に迫る！」(ロビー等)
9.9(土)	「ころ・おどる・ものがたり」展 朗読会(ロビー)
9.23(土・祝)～11.19(日)	「竹久夢二展」(第1展示室)
9.23(土・祝)～12.10(日)	「木の匠たち」展(第2展示室)
9.24(日)	「竹久夢二展」 30分でわかる！学芸員の見どころ解説(講堂)
10.6(金)	「竹久夢二展」 中右瑛氏ギャラリートーク(第1展示室)
10.7(土)	「竹久夢二展」 講演会「夢二・4人の恋人たち」(講堂)
10.12(木)	「竹久夢二展」 マダムケロコと学芸員のギャラリートーク(第1展示室)
10.14(土)	「竹久夢二展」 コンサート「マンドリンとギターのしらべで聴く大正ロマンの世界」(ロビー)
10.21(土)	「木の匠たち」展 講演会「人間国宝 村山明—私と木工芸」(講堂)
10.29(日)	「竹久夢二展」 お茶会(ロビー)
11.2(木)	「竹久夢二展」 マダムケロコと学芸員のギャラリートーク(第1展示室)
11.4(土)	「木の匠たち」展 講演会「人間国宝 須田賢司—清雅を標に」(講堂)
11.10(金)	「竹久夢二展」 30分でわかる！学芸員の見どころ解説(講堂)
11.11(土)	「竹久夢二展」 教員のための鑑賞研修(講堂)
11.18(土)	「竹久夢二展」 30分でわかる！学芸員の見どころ解説(講堂)
1.6(土)～3.17(日)	「蔵出し！木彫の味わい」展(第1展示室)
1.18(木)～3.17(日)	「北海道美術の1980年代」展(第2展示室)
1.11(木)	「蔵出し！木彫の味わい」展 教員のための鑑賞研修(講堂)
1.12(金)	「蔵出し！木彫の味わい」展 彫刻の魅力発見！子ども鑑賞ツアー(第1展示室)
1.19(金)	「蔵出し！木彫の味わい」展 学芸員によるギャラリートーク(第1展示室)
1.25(木)	「卒業制作発表」における講評(北海道おといねっふ美術工芸高等学校)
1.27(土)	旭川市中央図書館連携事業 図書館講座「見て知って・楽しい木の造形」(旭川市中央図書館)
2.16(金)	「蔵出し！木彫の味わい」展 学芸員によるギャラリートーク(第1展示室)
2.24(土)	「蔵出し！木彫の味わい」展 上映会&トーク「音威子府を語る」(講堂)
2.25(日)	冬のウッドイ★工作アトリエ2024「世界にたった一つの木琴をつくろう!!」(講堂、第1展示室)
3.8(金)	出前講座(旭川ロータリークラブ)
3.9(土)	「蔵出し！木彫の味わい」展 彫刻の魅力発見！子ども鑑賞ツアー(第1展示室)
3.15(金)	「蔵出し！木彫の味わい」展 学芸員によるギャラリートーク(第1展示室)

4 展覧会事業

■特別展・所蔵品展等一覧

	展覧会名	開催期間	開催日数	主催	会場
特別展	261 笠間日動美術館コレクション 魅惑の西洋近代絵画 モネ、ルノ ワールからピカソ、マティスまで	4月15日(土) ～6月25日(日)	62日間	北海道立旭川美術館 北海道新聞社 同展旭川展実行委員会	第1展示室
	262 ころ・おどる・ものがたり ～絵本原画・本の宝石・おもちゃ・ アート～	7月8日(土) ～9月10日(日)	56日間	北海道立旭川美術館 北海道新聞旭川支社	第1展示室
	263 竹久夢二展～憧れの欧米への旅～	9月23日(土・祝) ～11月19日(日)	51日間	北海道立旭川美術館 同展旭川市民実行委員会 北海道新聞旭川支社	第1展示室
	264 蔵出し！木彫の味わい	1月6日(土) ～3月17日(日)	60日間	北海道立旭川美術館 北海道新聞旭川支社	第1展示室

所蔵品展	97 パリへ渡った画家たち	4月15日(土) ～6月25日(日)	62日間	北海道立旭川美術館	第2展示室
	98 アートとデザインの空間 遠藤享展	7月8日(土) ～9月10日(日)	56日間	北海道立旭川美術館	第2展示室
	99 木の匠たち 伝統工芸から家具、クラフトま で	9月23日(土・祝) ～12月10日(日)	59日間	北海道立旭川美術館	第2展示室
	100 北海道美術の1980年代 -札幌・旭川に広がる現代美術 ネットワーク	1月18日(木) ～3月17日(日)	52日間	北海道立旭川美術館	第2展示室

貸館	創立60周年記念 書創展 併催 赤石蘭邦展	12月2日(土) ～12月10日(日)	8日間	書創社	第1展示室
	福瀬餓鬼 米寿記念 [書・墨彩・篆刻]展	1月6日(土) ～1月14日(日)	8日間	福瀬餓鬼 米寿記念 「書・墨彩・篆刻」展実 行委員会	第2展示室

4-1 特別展

笠間日動美術館コレクション

魅惑の西洋近代絵画 モネ、ルノワールからピカソ、マ ティスまで

Kasama Nichido Museum of Art Collection: Fascinating Modern Western Paintings —from
Monet and Renoir to Picasso and Matisse

会 期：令和5年（2023年）4月15日（土）～6月25日（日）

主 催：北海道立旭川美術館、北海道新聞社、魅惑の西洋近代絵画旭川展実行委員会

後 援：旭川市、旭川市教育委員会

特別協力：公益財団法人日動美術財団 笠間日動美術館

19世紀から20世紀にかけて、フランスを中心とする美術界では、次々と新しい美術の潮流が生まれた。光によって変化する自然の姿や都市の近代生活を鮮やかな色彩で描き出した印象派の画家たちは、後の美術界に多大な影響を与え、ポスト印象派やフォービズムの画家が登場する。1920年代になると、パリにはさまざまな国から芸術家が集まった。特定の様式や流派にとらわれず、個々の表現を追求した画家たちは、エコール・ド・パリ（パリ派）と呼ばれるようになる。

本展では、茨城県笠間市にある笠間日動美術館の西洋絵画コレクションより、モネやルノワールら印象派から、エコール・ド・パリまでの選りすぐった作品を展観、フランス近代絵画の魅力を紹介した。62日間の会期で14,326人が来場した。

■関連事業

[特別講演会「知られざる画家の素顔 思い出の作品たち」]

5月27日（土）午後2時～（約60分）

講 師：長谷川 徳七氏（笠間日動美術館館長）、長谷川 智恵子氏（笠間日動美術館副館長）

会 場：講堂（事前募集制、聴講無料）

参加人数：44名

[30分でわかる！学芸員の見どころ解説]

講 師：寺地 亜衣（学芸員）

会 場：講堂（聴講無料）



5月20日（土）午後2時～（約30分）

参加人数：28名



6月3日（土）午後2時～（約30分）

参加人数：20名

[教員のための鑑賞研修]

6月10日（土）午前11時～（約60分）

講 師：寺地 亜衣（学芸員）

会 場：講堂、第1展示室（事前募集制、参加無料）

参加人数：14名

[オリエンテーション]

講 師：寺地亜衣（学芸員）

会 場：講堂

実施回数：10回

参加人数：計274名

（希望団体対象の解説、予約制、参加無料）

■主な新聞記事等

北海道新聞 取材記事：4/3, 4/13, 4/16, 5/13, 5/19, 5/28, 6/15, 連載：5/18, 5/20, 5/23, 5/24, 5/26, 5/30, 6/3, 広告：2/15, 2/16, 2/17, 2/18, 2/19, 2/22, 2/23, 2/24, 2/24(ななかまど), 2/25, 2/26, 2/27, 2/28, 3/1, 3/2, 3/3, 3/3(ななかまど), 3/4, 3/5, 3/6, 3/8, 3/9, 3/10(ななかまど), 3/11, 3/12, 3/14, 3/15, 3/15(夕), 3/16, 3/18, 3/18(夕), 3/20, 3/21, 3/22, 3/23, 3/24(ななかまど), 3/25, 3/26, 3/27, 3/28, 3/29, 3/29(夕), 3/30, 3/31, 3/31(ななかまど), 4/1, 4/2, 4/3, 4/4, 4/4(夕), 4/5, 4/5(夕), 4/6, 4/7, 4/7(ななかまど), 4/8, 4/9, 4/11, 4/12, 4/13, 4/13(夕), 4/16, 4/18, 4/19, 4/20, 4/21, 4/21(ななかまど), 4/22, 4/23, 4/24, 4/24(夕), 4/26, 4/27, 4/28, 4/28(ななかまど), 4/29, 4/30, 5/1, 5/2, 5/2(夕), 5/3, 5/4, 5/5, 5/6, 5/7, 5/8, 5/9, 5/10, 5/11, 5/12, 5/13, 5/17, 5/18, 5/19, 5/19(ななかまど), 5/20, 5/22, 5/23, 5/24, 5/27(夕), 5/29, 5/30, 5/31, 6/1, 6/2, 6/3, 6/5, 6/7, 6/8, 6/10, 6/13, 6/14, 6/15, 6/17, 6/18, 6/20, 6/21, 6/22, 6/23, 6/24

北海道通信 取材記事：4/4, 4/21, 4/24, 4/28, 5/18, 5/31

■広報印刷物

ポスター：B2 縦、マットコート 135 kg、片面カラー、1,550 枚

チ ラ シ：A4 縦、マットコート 90 kg、両面カラー、36,500 枚

観 覧 券：縦 160×横 70mm、OK トップコートマット N 90 kg、片面カラー、43,500 枚

デザイン：佐藤守功（佐藤守功デザイン事務所）

製 作：山藤三陽印刷株式会社

魅惑の西洋近代絵画 出品目録

No.	作家名	作品名	制作年	技法・材質	寸法(cm)	所蔵先
1	ピエール＝オーギュスト・ルノワール	西洋かりんの木	1908	油彩・カンヴァス	25.0×43.5	笠間日動美術館蔵
2	ピエール＝オーギュスト・ルノワール	泉のそばの少女	1887	油彩・カンヴァス	41.0×32.5	笠間日動美術館蔵
3	クロード・モネ	ヴェトウイユ、水びたしの草原	1881	油彩・カンヴァス	61.7×74.0	笠間日動美術館蔵
4	ポール・セザンヌ	聖アントニウスの誘惑	1874頃	油彩・カンヴァス	24.1×33.4	笠間日動美術館蔵
5	ピエール・ボナール	室内の裸婦	1912頃	油彩・カンヴァス	96.0×38.6	笠間日動美術館蔵
6	オディロン・ルドン	横顔の女(左向きの)	1900頃	パステル・紙	49.5×36.0	笠間日動美術館蔵
7	キース・ヴァン・ドンゲン	赤いターバンの女	不詳	水彩・紙	27.5×22.4	笠間日動美術館蔵
8	ジョルジュ・ルオー	ピエロと小さな踊り子	不詳	油彩・カンヴァス	33.0×22.0	笠間日動美術館蔵
9	アルベール・マルケ	ボートのある風景	不詳	油彩・カンヴァス	50.0×60.6	笠間日動美術館蔵
10	ラウル・デュフィ	アスコットの観覧席前のパドック	1931	水彩・紙	43.7×53.6	笠間日動美術館蔵
11	アンリ・マティス	《赤い室内の緑の少女》のための習作	1947	墨・紙	40.5×52.3	笠間日動美術館蔵
12	アンリ・マティス	窓辺にすわる女	1919-20頃	油彩・カンヴァス	62.2×50.6	笠間日動美術館蔵
13	アンリ・マティス	ジャズ(20点)	1947	ステンシル・紙	42.0×65.2	笠間日動美術館蔵
14	マルク・シャガール	花束とカップル	1969頃	油彩・カンヴァス	61.0×50.0	笠間日動美術館蔵

15	マルク・シャガール	ポエム(24点)	1962-68	木版、コラージュ・紙	32.2×24.8	笠間日動美術館蔵
16	モーリス・ユトリロ	パレット	1933頃	油彩・板	28.0×37.0	笠間日動美術館蔵
17	モーリス・ユトリロ	プール＝レ＝ゼシヤルモ (ローヌ)	1934	油彩・カンヴァス	54.0×73.0	笠間日動美術館蔵
18	パブロ・ピカソ	女の顔	1901	油彩・厚紙	46.7×31.5	笠間日動美術館蔵
19	ジュール・パスキン	若いムラート	1927	油彩・カンヴァス	73.0×92.0	笠間日動美術館蔵
20	マリー・ローランサン	ばら色の帽子の女	1929頃	油彩・カンヴァス	45.8×38.0	笠間日動美術館蔵
21	シャイム・スーチン	カーニユの道	1922-23頃	油彩・カンヴァス	64.8×77.5	笠間日動美術館蔵
22	藤田 嗣治	母子	1950	インク・紙	22.7×15.8	笠間日動美術館蔵
23	藤田 嗣治	レスコニルの家	1950	油彩・カンヴァス	24.2×33.4	笠間日動美術館蔵
24	藤田 嗣治	御遠足(31点)	1927	エッチング、水彩・紙	21.0×14.5	笠間日動美術館蔵

※記載データはすべて企画元提供のデータに基づいている。

モネ、ルノワールから
ピカソ、マティスまで

笠間日動美術館コレクション

魅惑の 西洋近代絵画

Kasama Nichido
Museum of Art Collection:
Fascinating Modern Western Paintings
— from Monet and Renoir to Picasso and Matisse

2023. 4/15 [土] — 6/25 [日]

開館時間 / 午前9時30分～午後5時
(入場は午後4時30分まで)
休館日 / 月曜日

主催: 北海道立旭川美術館、北海道新聞社、魅惑の西洋近代絵画旭川展実行委員会
特別協力: 公益財団法人日動美術財団 笠間日動美術館 後援: 旭川市、旭川市教育委員会

展覧会ホームページ <http://event.hokkaido-np.co.jp/nichido-asahikawa/>



展覧会およびイベントの予定は、
やむを得ず変更となる場合がございます。
その場合は、展覧会ホームページ等にて
お知らせいたします。

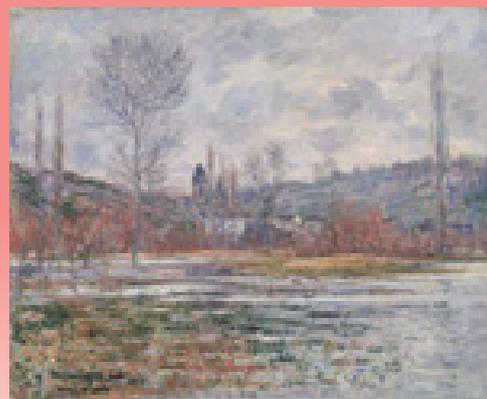
北海道立旭川美術館
Hokkaido Asahikawa Museum of Art
〒070-0044 旭川市常磐公園内 TEL. 0166-25-2577
<https://artmuseum.pref.hokkaido.lg.jp/abj>

笠間日動美術館コレクション

魅惑の西洋近代絵画

Kasama Nichido
Museum of Art Collection:
Fascinating Modern Western Paintings
— from Monet and Renoir to Picasso and Matisse

モネ、ルノワールからピカソ、マティスまで

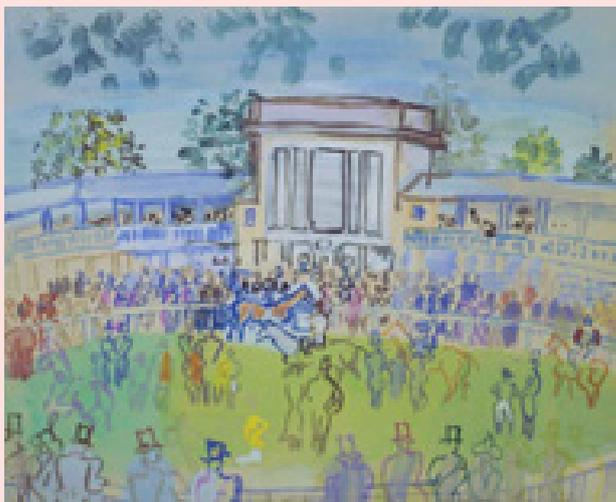


19世紀から20世紀にかけて、フランスを中心とする美術界では、次々と新しい美術の潮流が生まれました。光によって変化する自然の姿や都市の近代生活を鮮やかな色彩で描き出した印象派の画家たちは、後の美術界に多大な影響を与え、ポスト印象派やフォービズムの画家が登場します。1920年代になると、パリにはさまざまな国から芸術家が集まり、特定の様式や流派にとらわれず、個々の表現を追求した画家たちは、エコール・ド・パリ(パリ派)と呼ばれるようになりました。

本展は、茨城県笠間市にある笠間日動美術館の西洋絵画コレクションより、モネやルノワールら印象派から、エコール・ド・パリまで選りすぐった作品によってフランス近代絵画の魅力をご紹介します。

出品作家

クロード・モネ、ピエール＝オーギュスト・ルノワール、パブロ・ピカソ、ポール・セザンヌ、オディロン・ルドン、ジョルジュ・ルオー、モーリス・ユトリロ、ピエール・ボナール、アンリ・マティスなど17名



【関連事業】

●特別講演会

「知られざる画家の素顔 思い出の作品たち」

日時：5月27日(土) 午後2時～午後3時

講師：長谷川 徳七 氏(笠間日動美術館館長)

長谷川 智恵子 氏(笠間日動美術館副館長)

会場：当館講堂(定員35名、聴講無料)

申込方法 3月14日(火)から0166-25-2577で電話受付。先着順。受付時間 午前9時30分～午後5時(休館日を除く)

●30分でわかる! 学芸員の見どころ解説

日時：5月20日(土)、6月3日(土) 午後2時～

講師：当館学芸員

会場：当館講堂(各回定員35名、聴講無料)

* 展覧会およびイベントの予定は、やむを得ず変更となることがございます。その場合は、展覧会公式ホームページ等にてお知らせいたします。

【同時開催】第2展示室

パリへ渡った画家たち

2023.4.15(土)～6.25(日)

芸術の都パリに学んだ北海道ゆかりの画家たちの作品を紹介します。

観覧料／一般260(210)円
高大生150(110)円
中学生以下、65歳以上無料



小野 小舟 小野 小舟 《パリの風景(パリ)》
1977年 当館蔵

* ()内は10名以上の団体料金。
* 土曜日、ほとんどの日は、高校生無料。
* 障害者手帳をお持ちの方は無料。

1. マリー＝ローランサン
《ぼら色の帽子の女》
1929年頃 油彩、カンヴァス
2. クロード・モネ
《ヴェトゥイユ、水びたしの草原》
1881年 油彩、カンヴァス
3. アンリ・マティス
《ジャズ(No.2 サーカス)》
1947年 ステンシル、紙
4. ラウル・デュフィ
《アスコットの観覧席前のパドック》
1931年 水彩、紙
5. パブロ・ピカソ
《女の顔》1901年 油彩、厚紙
©2022 - Succession Pablo Picasso - BCF(JAPAN)
6. マルク・シャガール
《花束とカップル》1969年頃 油彩、カンヴァス
©ADAGP, Paris & JASPAR, Tokyo, 2022, Chagall® X0121

いずれも笠間日動美術館蔵

観覧料：一般1,200(1,000)円、高大生700(500)円、中学生400(300)円、小学生以下無料(要保護者同伴)

* ()内は前売りと10名以上の団体料金。*リピーター割引、旭川リンクミュージアムによる割引など、お得な各種割引料金もあります。詳しくは旭川美術館までお問い合わせください。

【前売券販売所(4月14日まで)】北海道立旭川美術館、旭川富貴堂各店、ローンチケット(Lコード:12372)、セブンチケット(セブンコード098-953)、チケットぴあ(Pコード686-342)、セイコーマート(セコマコード:D23041502)、札幌市内道新プレイガイド、道新プレイガイドオンラインストアほか ※4月15日以降、ローンチケット、セブンチケット、チケットぴあ、セイコーマート、道新プレイガイドオンラインストアにて当日券を販売します。



【交通のご案内】

- 徒歩/JR旭川駅から約20分。
- バス/JR旭川駅北側の1条通の14番バス停[1条8丁目]から3・23・24・33・35番のバスに乗車。最寄りのバス停は[4条4丁目](3・33・35番)、徒歩5分。または[8条西1丁目](23・24番)、徒歩3分。また、バス停[常盤公園前]を経由するバスもご利用いただけます。バス停から徒歩7分。
- タクシー：JR旭川駅から約10分。800円程度。
- 駐車場：常盤公園駐車場(無料/午前9時～午後5時)をご利用いただけますが、台数に限りがあります。

北海道立旭川美術館

Hokkaido Asahikawa Museum of Art
〒070-0044 旭川市常盤公園内 TEL. 0166-25-2577
Asahikawa_Art

ご来館の皆様へ 新型コロナウイルス感染拡大防止についてのごお願い ○発熱や体調不良等の症状のある方はご来館をお控えください。○ご入館の際は、「マスク着用」、「手指消毒」、「検温」をお願いします。○混雑時には入館に時間をいただく場合がありますので、ご了承ください。

こころ・おどる・ものがたり

～絵本原画・本の宝石・おもちゃ・アート～

Happy Encounters with Art for Life

会 期：令和5年（2023年）7月8日（土）～9月10日（日）

主 催：北海道立旭川美術館

共 催：北海道新聞旭川支社

言の葉で編まれ、読み語り継がれる“物語”は私たちの心を揺り動かし、さまざまな感情や思索をもたらす。最初は確かに受け手の外側にあったはずの世界がやがてその内面に届くまでのエピソードは、その人にとってのもう一つの“物語”ともいえる。

そうした“物語”は美術の中にも存在する。本展では〈絵本～原画と小品〉、〈“本の宝石”～武井武雄の刊本作品〉、〈おもちゃ〉、〈アート〉の四つのセクションにより、“物語”としての魅力に満ちた多彩な作品を紹介した。

会期中には出品絵本作家を招いての親子向けワークショップ（夏休み工作アトリエとして開催）や、図書館ボランティアサークルによる絵本の読み聞かせ会、旭川美術振興会副会長の塩尻曜子氏に武井武雄『ラムラム王』の一節を披露いただく朗読会、武井武雄の刊本作品や木工クラフトの箱型作品を学芸員がケースから取り出して中身を開いてお見せするデモンストレーションといった関連事業を実施し、来館者が展覧会への関心や理解を深める一助とした。また、展示室内の一角に絵本を読んだりおもちゃを手にとっていただけるスペースを設けたほか、旭川デザインセンターからの協力で体験用の竹とんぼを用意し、屋外で自由に遊んでいただけるようロビーに配架。作品鑑賞とあわせてこれらの体験型コーナーを利用する来館者が多く見られた。

なお本展は道内の美術館等がネットワークでつながり、北海道全体がアートの舞台となることを目指す「アートギャラリー北海道」の一環としても開催。本事業加盟館である剣淵町絵本の館をはじめ、道内各地域に所蔵される優れたコレクションを一堂に展覧する機会とした。56日間の会期で3,985名が来場した。

■関連事業

[夏休み工作アトリエ 2023「すてきなじどうしゃ“〇〇さん”をつくろう!」]

8月11日（金・祝）午後2時～4時、8月12日（土）午前10時～正午

講 師：堀川 真氏（本展出品作家）、津田 しおり（学芸員）

会 場：講堂、第1展示室（事前募集制、要観覧券）

参 加 料：1組1,000円（材料費、観覧料、保険代等を含む）

参加人数：計 20 名

[絵本の読み聞かせ会]

7月29日(土)、8月26日(土) 各日午前11時～、午後2時～(各回約20分)

出演：絵本サークル ののはな、ぼわぼわ、まほうのて、赤いてぶくろ

会場：ロビー(参加無料)

参加人数：計 75 名

[朗読会]

9月9日(土) 午前11時～、午後2時～(各回約30分)

出演：塩尻 曜子氏(旭川美術振興会副会長)

会場：ロビー(参加無料)

参加人数：計 35 名

[デモンストレーション〈作品をひらく〉]

7月14日(金)、8月18日(金) 各日午前11時～、午後1時30分～、午後3時～(各回約30分)

講師：藤原 乃里子(学芸課長)

会場：第1展示室(事前募集制、要観覧券)

参加人数：計 17 名

[連動企画 at 剣淵町絵本の館]

7月6日(木)～7月23日(日)

展示作品：矢柳 剛《愛の動物誌Ⅱ》(10点) 当館蔵

会場：剣淵町絵本の館 展示ホール B(入場無料)

入場者数(期間中の来館者数として)：1,408名

[教員のための鑑賞研修]

8月4日(金) 午後2時～(約60分)

講師：藤原 乃里子(学芸課長)

会場：講堂、第1展示室(事前募集制、参加無料)

参加人数：2名

[オリエンテーション]

講師：藤原 乃里子(学芸課長)

会場：講堂

実施回数：3回

参加人数：計 53 名

(希望団体対象の解説、予約制、参加無料)

■主な新聞記事等

北海道新聞 7/27, 8/4, 8/17, 9/6 広告：6/27, 6/28, 6/29, 7/2, 7/9, 7/12, 7/14, 7/15, 7/15(夕), 7/18, 7/19, 7/20, 7/24, 7/25, 7/26, 7/31, 8/4, 8/7, 8/8, 8/9, 8/12, 8/13, 8/15, 8/16, 8/18, 8/22, 8/23, 8/24, 8/26, 8/29, 8/30, 9/1(ななかまど), 9/1, 9/3, 9/4, 9/6, 9/8, 9/9

あさひかわ新聞 8/1, 8/15

道北日報 7/11

北海道通信 7/14, 7/28, 8/23

■広報印刷物

ポスター：B2 縦、OK トップコートマット N 135 kg、片面カラー、1,400 枚

チラシ：A4 縦、OK トップコートマット N 110 kg、両面カラー、17,000 枚

観覧券：(招待券) 縦 160×横 60mm、(一般券等) 縦 140×横 60mm、マットコート 90 kg、片面カラー、9,100 枚

デザイン：磯 優子 (文編図工室)

製作：株式会社総北海

こころ・おどる・ものがたり 出品目録

No.	作家名	作品名	制作年	技法・材質	寸法(cm)	所蔵先
〈絵本～原画と小品〉						
1	堀川 真	『私の名前は宗谷本線』 絵本原画より(8点)	2020 (令和2)	水彩・紙	各30.0×48.0(6点), 35.0×51.0, 35.0×49.0(各1点)	作家蔵 (剣淵町絵本の館寄託)
2	堀川 真	『あかいじどうしゃよんまるさん』 絵本原画より(8点)	2007 (平成19)	水彩・紙	各22.0×61.0	作家蔵 (剣淵町絵本の館寄託)
3	小池 暢子	『いちばんはじめのクリスマス』 絵本原画より(7点)	1986 (昭和61)	銅版・紙	各22.0×43.0	剣淵町絵本の館蔵
4	あべ 弘士	『エゾオオカミ物語』 絵本原画(全17点)	2008 (平成20)	グワッシュ・クレヨン・紙	5.5×57.5, 26.5×30.5(各1点), 各26.5×70.5(15点)	北海道立旭川美術館蔵
5	海月 清則	『こうしがうまれたよ』 絵本原画より(7点)	1988 (昭和63)	油彩・キャンバス	40.0×52.0(1点), 32.5×44.5(6点)	剣淵町絵本の館蔵
6	小林 研三	『のはらのちいさないえ』 絵本原画より(3点)	1981 (昭和56)	油彩・キャンバス	22.5×24.8, 23.5×25.0, 37.7×45.3(各1点)	剣淵町絵本の館蔵
7	瀬川 康男	『ふたり』 絵本原画より(4点)	1981 (昭和56)	版画・紙	26.0×30.0, 24.0×32.0, 25.0×51.5, 29.0×31.0(各1点)	剣淵町絵本の館蔵
8	ファーガス・ホール	『グランドセル』 絵本原画より(2点)	1982	水彩またはアクリル絵具・紙	各56.6×43.3	剣淵町絵本の館蔵
9	イワン・ガンチェフ	『サンタクロースのすきなおはなし』 絵本原画より(7点)	1983	水彩・紙	各26.0×29.5(2点), 22.0×27.0, 26.0×26.0, 25.5×28.0, 22×25.5, 28.5×18.0(各1点)	剣淵町絵本の館蔵
10	アニータ・ローベル	『ABCのおかいもの』 絵本原画より(7点)	1985	印刷・フィルム・彩色・紙 またはインク・紙	24.5×20.0, 25.0×21.0, 21.5×18.5, 25×20.5, 21.0×18.0(各1点), 各22.5×18.0(2点)	剣淵町絵本の館蔵
11	トーベ・ヤンソン	踊るくま(小品)	不詳	水彩・紙	23.5×18.0	剣淵町絵本の館蔵
12	エリック・カール	にわとり(小品)	2000年代初期	水彩・カラージュ・紙	23.0×19.0	剣淵町絵本の館蔵
13	エリック・カール	かたつむり(小品)	1980年代か	水彩・カラージュ・紙	13.0×19.0	剣淵町絵本の館蔵
14	ブライアン・ワイルドスミス	きつつき	不詳	水彩・紙	22.9×16.6	剣淵町絵本の館蔵
15	長 新太	へびとねこ(小品)	不詳	グワッシュ・アクリル絵具・紙	12.2×17.3	剣淵町絵本の館蔵
16	馬場 のぼる	ねこ(小品)	不詳	水彩・ペン・紙	12.1×16.9	剣淵町絵本の館蔵

17	加古 里子	だるまちゃんとてんぐちゃん の クリスマス(小品)	1984 (昭和59)	水彩・ペン・紙	17.0×25.0	剣淵町絵本の館蔵
18	瀬名 恵子	うさぎの親子(小品)	不詳	コラージュ・紙	10.7×14.7	剣淵町絵本の館蔵

〈“本の宝石”～武井武雄の刊本作品〉

19	武井 武雄	本箱	不詳	(木ほか)	15.2×26.7×20.0	釧路市教育委員会蔵
20	武井 武雄	刊本作品 『二十世紀の虎』	1966 (昭和41)	自刻木版可憐判	8.6×12.9×1.0 函9.4×13.6×1.8	釧路市教育委員会蔵
21	武井 武雄	刊本作品 『けちな神様』	1968 (昭和43)	自刻木版可憐判	11.3×9.3×0.9 函12.2×10.0×1.8	釧路市教育委員会蔵
22	武井 武雄	刊本作品 『ラムラム王』	1964 (昭和39)	絵入童話本	11.9×9.0×1.6 函12.9×9.5×1.9	釧路市教育委員会蔵
23	武井 武雄	刊本作品 『六之助行状』	1958 (昭和33)	鑄孔版	14.8×9.7×1.0 函15.0×10.1×1.5	釧路市教育委員会蔵
24	武井 武雄	刊本作品 『木魂の伝記』	1957 (昭和32)	寄せ木	14.6×11.3×1.0 函15.0×11.2×1.4	釧路市教育委員会蔵
25	武井 武雄	本箱	不詳	(木・寄せ木)	17.2×25.5×23.8	釧路市教育委員会蔵
26	武井 武雄	刊本作品 『ストロ王』	1960 (昭和35)	Straw mosaic (ストロモザイク)	14.5×11.3×2.0 函15.8×12.4×2.8	釧路市教育委員会蔵
27	武井 武雄	刊本作品 『笛を吹く城』	1968 (昭和43)	Sペランによるゴ ブラン織	16.6×13.8×2.0 函18.2×15.2×2.6	釧路市教育委員会蔵
28	武井 武雄	刊本作品 『姫の尺牘』	1955 (昭和30)	友禅	14.5×11.3×1.0 函15×12×1.8	釧路市教育委員会蔵
29	武井 武雄	刊本作品 『かなりやABC』	1959 (昭和34)	グランド孔版	14.5×11.7×1.5 函15×11.7×1.8	釧路市教育委員会蔵
30	武井 武雄	刊本作品 『独楽が来た』	1962 (昭和37)	伝承日本木版	17.5×13.0×0.9 函17.7×13.6×1.5	釧路市教育委員会蔵
31	武井 武雄	刊本作品 『II子の船出』	1969 (昭和44)	TRANSART (トランスアート)	14.6×11.0×0.8 函15.9×12.3×1.4	釧路市教育委員会蔵
32	武井 武雄	刊本作品 『湖のひと』	1967 (昭和42)	Miracle tower (ミラクルタワー)	9.0×12.4×1.2 函14×9.7×2.2	釧路市教育委員会蔵
33	武井 武雄	刊本作品 『人魚と嫦娥』	1966 (昭和41)	高岡螺鈿	14.6×14.0×1.7 函15.7×14.8×2.2	釧路市教育委員会蔵

34	武井 武雄	刊本作品 『あるくJACK』	1968 (昭和43)	現代ガラス絵	17.0×14.1×1.9 函18.3×15.2×2.6	釧路市教育委員会蔵
35	武井 武雄	刊本作品 『僕の哥留多』	1946 (昭和21)	自刻木版	15.3×10.5×1.7 函なし	釧路市教育委員会蔵
36	武井 武雄	刊本作品 『お猫様』	1947 (昭和22)	活版・自刻木版	14.4×10.9×0.9 函なし	釧路市教育委員会蔵
37	武井 武雄	刊本作品 『もりどんの話』	1951 (昭和26)	自刻木版	12.3×9.7×1.4 函なし	釧路市教育委員会蔵
38	武井 武雄	刊本作品 『ARIA』	1954 (昭和29)	層版・紙拓	14.5×11.0×1.1 函15.2×11.0×1.5	釧路市教育委員会蔵
39	武井 武雄	刊本作品 『胡蝶散策』	1955 (昭和30)	三色凸版・胡蝶型	12.5×11.0×1.0 函12.7×11.9×3.0	釧路市教育委員会蔵
40	武井 武雄	刊本作品 『Sphère』	1959 (昭和34)	写真による詩集	14.7×12.0×1.4 函15.5×12.8×1.8	釧路市教育委員会蔵
41	武井 武雄	刊本作品 『Q子の奇跡』	1960 (昭和35)	ドライポイント電 鋳	14.5×12.3×1.9 函15.0×13.0×2.4	釧路市教育委員会蔵
42	武井 武雄	刊本作品 『運のわるい男』	1961 (昭和36)	木版乾拓	18.5×12.6×1.4 函19.4×13.5×2.0	釧路市教育委員会蔵
43	武井 武雄	刊本作品 『Harem』	1961 (昭和36)	Applique (アップリケ)	14.5×13.7×2.0 函15.7×15.0×2.3	釧路市教育委員会蔵
44	武井 武雄	刊本作品 『卵から卵』	1963 (昭和38)	木綿型染	18.0×13.6×厚み不 詳 函18.9×14.5×3.0	釧路市教育委員会蔵
45	武井 武雄	刊本作品 『鬼の郷衛門』	1963 (昭和38)	Wonder View (ワンダービュー)	14.5×12.5×2.1 函17.2×15.5×2.5	釧路市教育委員会蔵
46	武井 武雄	刊本作品 『新しい地球』	1965 (昭和40)	TOP-STEREO (トップステレオ)	14.6×12.6×2.5 函15.8×13.2×3	釧路市教育委員会蔵
47	武井 武雄	刊本作品 『鳩と奇術師』	1967 (昭和42)	静電印刷	17.7×13.7×1.8 函18.6×14.5×2.3	釧路市教育委員会蔵
48	武井 武雄	刊本作品 『迅四郎の窓』	1969 (昭和44)	APRステンドグラ ス	17.3×14.6×1.8 函18.5×15.1×2.5	釧路市教育委員会蔵
49	武井 武雄	刊本作品 『えでんの異変』	1959 (昭和34)	Collotype (コロタイプ)	14.6×9.0×1.2 函15.2×10.1×2.0	釧路市教育委員会蔵

50	武井 武雄	刊本作品 『世界は渦巻』	1969 (昭和44)	凸版	17.0×13.0×1.2 函18.2×13.6×2	釧路市教育委員会蔵
51	武井 武雄	刊本作品 『花園の気流』	1970 (昭和45)	植毛印刷	17.3×12.2×1.5 函18.2×12.7×2.1	釧路市教育委員会蔵
52	武井 武雄	刊本作品 『平和白書』	1970 (昭和45)	サーモトンプリン テックス	18.0×13.1×0.9 函19.2×14.0×1.5	釧路市教育委員会蔵
53	武井 武雄	刊本作品 『おかしな象の話』	1973 (昭和48)	凸版	14.6×13.0×1.2 函15.8×14.0×1.8	釧路市教育委員会蔵
54	武井 武雄	本箱	不詳	(木・金属)	21×27.3×25.3 鍵付属	釧路市教育委員会蔵
55	武井 武雄	刊本作品 『RomとRam』	1974 (昭和49)	皮革印刷	14.6×13.3×1.3 函15.8×14.1×2.0	釧路市教育委員会蔵
56	武井 武雄	刊本作品 『どん・きほうて』	1974 (昭和49)	COUPAGE (クパージュ)	12.4×13.1×1.1 函13.5×13.8×1.8	釧路市教育委員会蔵
57	武井 武雄	刊本作品 『アイウエ王物語』	1976 (昭和51)	凸版オフセット	14.6×13.8×1.4 16×15×2.2	釧路市教育委員会蔵
58	武井 武雄	刊本作品 『小さな雪女』	1975 (昭和50)	Snow View (スノービュー)	14.6×13.0×1.4 函15.8×13.8×2	釧路市教育委員会蔵
59	武井 武雄	刊本作品 『提灯の詩』	1977 (昭和52)	ヴィーバル造本	14.5×13.0×3.0 函15.7×13.8×3.4	釧路市教育委員会蔵
60	武井 武雄	刊本作品 『エリアナ姫と蝶』	1979 (昭和54)	アルミナ磁器	14.5×14.2×2.0 函16.0×15.2×3.0	釧路市教育委員会蔵

〈おもちゃ～秋岡芳夫の竹とんぼとともに〉

61	秋岡 芳夫	竹とんぼ	1980～97 (昭和55 ～平成9) 頃	竹・木・鉛・銀・ 銅・真鍮・あわび 貝・絹糸・紙やす り・着色 等	羽根長さ8.3×羽根 幅2.1×軸長さ10.7 ほか(35点)	オケクラフトセンター 森林工芸館蔵
62	時松 辰夫	レースの箱	1981 (昭和56)	アカマツ・プリボ リマー処理・ポリ ウレタン塗装	40.0×40.0×20.0	北海道立旭川美術館蔵
63	小黒 三郎	四つのアニマルキューブ	1981 (昭和56)	ナラ・ヒノキ	各箱の一辺：12.9, 16.1, 19.3, 29.5	北海道立旭川美術館蔵
64	山中 晴夫	海の中の音楽会	1987 (昭和62)	カバザクラ・ト チ・ナラ	44.0×50.0×13.0	北海道立旭川美術館蔵
65	早見 賢二	キレンジャク・モビール	不詳	カバ・クルミ・ケ ヤキ		北海道立旭川美術館蔵

66	三浦 忠司	森のさえずり	不詳	ナラ		北海道立旭川美術館蔵
67	太田 久幸	ハト	不詳	ナラ		個人蔵
68	太田 久幸	フクロウ	不詳	ナラ		個人蔵
69	中井 啓二郎/ 丹野 則雄	木鞆(KIBAN)	1981 (昭和56)	クルミ・コルク・ ローズウッド・革 ひも	24.5×41.0×31.5	北海道立旭川美術館蔵
70	大門 巖	き・に・なる・箱	1992 (平成4)	ウォールナット・ シナ・アフリカン バドック・ビッチ パイプ・ウレタン オイル塗装(内 装)・白木用ウレ タン塗装(外箱)	24.0×40.0×30.0	北海道立旭川美術館蔵
71	板津 邦夫	僕の夏休み自由研究 4年2組 板津 邦夫	2004 (平成16)	木・アクリル絵具	31.2×23.7×4.8	北海道立旭川美術館蔵
72	板津 邦夫	はたらく自動車	2005 (平成17)	木・ワックス	19.0×29.0×14.7	北海道立旭川美術館蔵
73	板津 邦夫	はたらく自動車	2005 (平成17)	木・アクリル絵 具・ワックス	20.8×30.5×12.5	北海道立旭川美術館蔵

〈アート～絵画・彫刻・ガラス作品〉

74	国松 登	星月夜	1992 (平成4)	油彩・キャンバス	162.0×162.0	北海道立近代美術館蔵
75	国松 登	星月夜	1991 (平成3)	油彩・キャンバス	162.0×162.0	北海道立近代美術館蔵
76	神山 明	いつもの道に迷いこむ	1988 (昭和63)	スギ・オイルステ イン	170.0×300.0	北海道立旭川美術館蔵
77	砂澤 ビッキ	午前3時の玩具	1987 (昭和62)	カツラ	34.0×80.0×20.0	北海道立旭川美術館蔵
78	柰田 たけを	花の祭典C	不詳	油彩・キャンバス	33.4×24.2	釧路市立美術館蔵
79	柰田 たけを	花馬車	不詳	油彩・キャンバス	45.4×53.2	釧路市立美術館蔵
80	柰田 たけを	花の祭典	不詳	油彩・キャンバス	33.5×24.5	釧路市立美術館蔵
81	柰田 たけを	花	不詳	油彩・キャンバス	45.5×37.9	釧路市立美術館蔵
82	高橋 禎彦	花のような	2002 (平成14)	ガラス：被せガラ ス・宙吹き・研磨 (一部・エナメル 焼付)	8.3×22.9 ほか (50点)	北海道立近代美術館蔵
83	菅沼 緑	無題	1983 (昭和58)	カシに象嵌	67.0×124.5×25.5	北海道立旭川美術館蔵
84	菅沼 緑	無題	1985 (昭和60)	チークに象嵌	68.0×106.0×46.0	北海道立旭川美術館蔵

※寸法は平面作品が縦×横、立体作品は注記以外は高さ×幅×奥行き、高さ×径、または縦×横×厚さ。平面作品にはマット装の窓寸を記載したものもある。
 ※武井武雄〈刊本作品〉の作品名は、作家が1960(昭和35)年に一連の作品を改めて「刊本作品」と命名した意思に沿って、当初は「豆本」と題していた作品も含め、全て「刊本作品」と記載している。
 ※武井武雄〈刊本作品〉の表現様式には、作家本人が発表時に用いた言葉を記載している。本展にあわせて便宜的に記載した本箱の表現様式は()で括った。

こころ・あどる・ものがたり

～絵本原画・本の宝石・おもちゃ・アート～

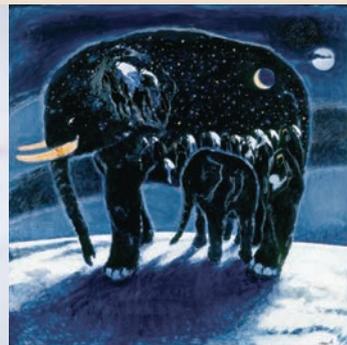
HAPPY ENCOUNTERS WITH ART FOR LIFE



武井武雄
〈刊本作品「ラムラム王」〉1964年
釧路市教育委員会蔵
©岡谷市・イルフ童画館



秋岡芳夫〈竹とんぼ〉
オケクラフトセンター
森林工芸館蔵・撮影



* 出品作品と一部、異なります

2023年

7月8日 土

9月10日 日

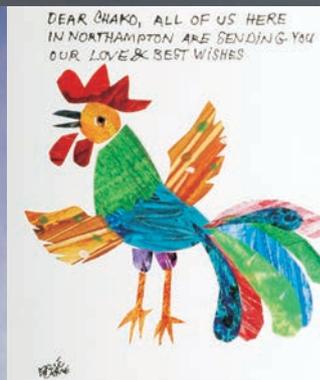
休館日：月曜日〔ただし7月17日(月/祝)は開館〕、7月18日(火)
開館時間：午前9時30分～午後5時(入場は午後4時30分まで)

***** 観覧料 *****

一般 800 (600) 円、高大生 500 (400) 円、
小中生 300 (200) 円

* ()内は前売り、10名以上の団体料金。*学校の教育活動で利用
する小・中・高校生とその引率者は無料。*障害者手帳をお持ちの方
等は無料。*リピーター割引、旭川リンクリンクミュージアムによる割引
など、お得な割引料金もあります。詳しくは旭川美術館までお問い合わせ
ください。*本展の前売券は2023年7月7日(金)まで当館で販売します。

主催：北海道立旭川美術館 共催：北海道新聞旭川支社



■ 上段左から：高橋禎彦〈花のような〉2002年(参考図版) 北海道立近代美術館蔵、国松登〈星月夜〉1991年
北海道立近代美術館蔵 ■ 中段：武井武雄 刊本作品(参考図版) ©岡谷市・イルフ童画館 ■ 下段左から：
小林研三「のはらのちいさないえ」(かど創房刊)原画より 1981年 剣淵町絵本の館蔵、エリック・カール〈小品
(にわとり)〉© by Penguin Random House LLC. 剣淵町絵本の館蔵

北海道立旭川美術館
Hokkaido Asahikawa Museum of Art



〒070-0044 旭川市常磐公園内 Tel. 0166-25-2577
https://artmuseum.pref.hokkaido.lg.jp/abj @Asahikawa_Art @asahikawa_art



堀川真『あかいじどうしゃよんまるさん』(福音館書店刊)原画より
2007年 作者蔵(剣淵町絵本の館寄託)



小池暢子『いちばんはじめのクリスマス』(景山あき子文、福武書店刊)原画より
1986年 剣淵町絵本の館蔵

こころ・おどる・ものがたり

～絵本原画・本の宝石・おもちゃ・アート～

言の葉で編まれ、読み語り継がれる“物語”は、私たちの心を揺り動かし、さまざまな感情や思索をもたらします。最初は確かに読み手、聞き手の外側にあつたはずの世界が、やがて内面へ到着するまでのエピソードは、その

人にとってのもう一つの“物語”ともいえるでしょう。

そうした“物語”は美術の中にもあります。

本展では〈絵本～原画と小品〉、〈“本の宝石”～武井武雄の刊本作品〉、〈おもちゃ～秋岡芳夫の竹とんぼとともに〉、〈アート～絵画・彫刻・ガラス作品〉の四つのセクションによって、“物語”としての魅力に満ちた多彩な作品をご紹介します。心踊る美術との素敵な出会いをお楽しみください。



秋岡芳夫(竹とんぼ)
オケクラフトセンター
森林工芸館蔵・撮影

関連プログラム

夏休み工作アトリエ

事前申込制

「すてきなじどうしゃ“〇〇さん”をつくろう！」

講師：堀川真さん(本展出品作家)、当館学芸員
日時：8月11日(金・祝)午後2時～、8月12日(土)午前10時～(各日約2時間)
会場：当館講堂、第1展示室(観覧券が必要です)
対象：小学生とその保護者 各日10組20名程度
*内容、参加料、申込方法の詳細は別途、事業ちらしやホームページでお知らせします。

絵本の読み聞かせ会

原画が展示される絵本を中心に読み聞かせを行います。
出演：絵本サークル ののはな、ぼわぼわ、まほうのて、赤いてぶくろ
日時：7月29日(土)、8月26日(土) 各日午前11時～、午後2時～(各回約20分)
会場：当館ロビー(参加無料)
定員：各回30名程度(当日先着順)

アートギャラリー北海道

連動企画 at
剣淵町絵本の館
のごあんない



「こころ・おどる・ものがたり」展とあわせて
旭川美術館の所蔵作品を展示します。

会期：7月6日(木)～7月23日(日) 水曜休館
会場：剣淵町絵本の館 展示ホールB
観覧料：無料
展示作品：矢柳剛〈愛の動物誌II〉(版画連作)

同時開催
第2展示室のごあんない

アートとデザインの空間 遠藤享展

グラフィックデザイナー、版画家として活躍を続ける遠藤享(1933年生まれ)。旭川で前衛運動に参加した若き日から、デザイナーとして頭角を現し、版画の世界に先駆的表現を確立した活動の軌跡をご紹介します。

観覧料：一般260円、高大生150円、65歳以上・中学生以下無料
道みんの日(7月17日)、開館記念日の振替(7月23日)はどなたでも無料



遠藤享(SPACE & SPACE/NATURE-0605)
2006年 当館蔵

講演会「遠藤享 自作を語る」

定員：50名/事前申込制

日時：7月8日(土) 午前10時30分～(約1時間30分) 会場：当館講堂(聴講無料)
申込：6月6日(火) 午前9時30分以降、お電話(0166-25-2577)でお申し込みください。定員になり次第、締め切らせていただきます。

交通案内

徒歩) JR旭川駅から約20分。

バス) JR旭川駅北側の1条通の14番バス停[1条8丁目]から3・23・24・33・35番のバスに乗車。最寄りのバス停は[4条4丁目](3・33・35番)、徒歩5分。または[8条西1丁目](23・24番)、徒歩3分。また、バス停[常磐公園前]を経由するバス(バス停から徒歩7分)もご利用いただけます。

タクシー) JR旭川駅から約10分。800円程度。

駐車場) Pマークのある常磐公園駐車場(無料/午前9時～午後5時)をご利用いただけますが、台数に限りがあります。

北海道立旭川美術館

Hokkaido Asahikawa Museum of Art

〒070-0044 旭川市常磐公園内
Tel. 0166-25-2577
https://artmuseum.pref.hokkaido.lg.jp/abj
@Asahikawa_Art @asahikawa_art



展覧会や関連プログラムの日程、内容は、やむをえず変更となる場合がございます。最新の情報は当館ホームページ等でご確認ください



竹久夢二展～憧れの欧米への旅～

TAKEHISA Yumeji Exhibition: A Dream Trip to Europe and America

- 会 期：令和5年（2023年）9月23日（土・祝）～11月19日（日）
主 催：北海道立旭川美術館、竹久夢二展旭川市民実行委員会
共 催：北海道新聞旭川支社
後 援：旭川市、旭川市教育委員会、愛別町教育委員会、上川町教育委員会、鷹栖町教育委員会、当麻町教育委員会、美瑛町教育委員会、東川町教育委員会、東神楽町教育委員会、比布町教育委員会、NHK旭川放送局、旭川ケーブルテレビ「ポテト」、FMリベール、あさひかわ新聞、旭川商工会議所、旭川美術振興会
協 力：竹久夢二文学館神戸文庫
監 修：中右瑛（国際浮世絵学会常任理事）
企画協力：ステップ・イースト

「夢二式美人」と称される独自の画風で知られる画家、竹久夢二(1884～1934)。雑誌の口絵や挿絵、本の装幀、絵はがきなど、印刷物を媒体とした幅広い創作活動は、イラストレーター、デザイナーの先駆けとなり、詩や童話など文芸の分野でも活躍した。

本展では、日本有数の夢二コレクターである中右瑛（なかう・えい）氏の所蔵品の中から、夢二の死後長らく行方不明となり「幻のスケッチ」とも呼ばれていた、滞欧・滞米時のスケッチを中心に、滞在中に制作した多数の貴重な作品をまとめて公開。夢二が個展で発表した掛け軸や、秀逸なデザインを施したグッズ哀愁とロマンあふれる夢二の世界を紹介した。

会期中は中右氏によるギャラリートークや講演会をはじめ、お茶会やコンサートなど多彩なイベントを開催。特に、コロナ禍の影響で4年ぶりに催されることとなった表千家同門会旭川支部・旭川地区青年部によるお茶会は、大きな賑わいをみせた。こうした関連事業の効果もあり、観覧者数は51日間の会期で9,757名にのぼった。

■関連事業

[中右瑛氏ギャラリートーク]

10月6日（金）午後3時～（約30分）

講 師：中右 瑛 氏（本展監修者、国際浮世絵学会常任理事）

会 場：第1展示室（自由参加、要観覧券）

参加人数：27名

[講演会「夢二・4人の恋人たち」]

10月7日（土）午前10時30分～（約90分）

講 師：中右 瑛氏（本展監修者、国際浮世絵学会常任理事）

会 場：講堂（事前募集制、聴講無料）

参加人数：51名

〔マダムケロコと学芸員のギャラリートーク〕

講 師：マダムケロコ氏（FMりべるパーソナリティー）、津田 しおり（学芸員）

会 場：第1展示室（事前募集制、要観覧券）



10月12日（木）午後6時～（約60分）

参加人数：8名



11月2日（木）午後6時～（約60分）

参加人数：20名

〔コンサート「マンドリンとギターのしらべで聴く大正ロマンの世界」〕

10月14日（土）午前11時～、午後2時～（各回約40分）

演 奏：高瀬 善朗氏（マンドリン）、安田 敏宏氏（ギター）

会 場：当館ロビー（事前募集制、聴講無料）

参加人数：計148名

〔お茶会〕

10月29日（日）午前10時～午後2時

講 師：表千家同門会旭川支部・旭川地区青年部

会 場：当館ロビー（自由参加）

参 加 料：500円

参加人数：195名

〔30分でわかる！学芸員の見どころ解説〕

講 師：津田 しおり（学芸員）

会 場：講堂（自由参加、聴講無料）



9月24日（日）午後2時～（約30分）

参加人数：16名



11月10日（金）午後2時～（約30分）

参加人数：19名



11月18日(土) 午後2時～(約30分)

参加人数：19名

[教員のための鑑賞研修]

11月11日(土) 午前10時～(約60分)

講師：津田 しおり (学芸員)

会場：講堂、第1展示室 (事前募集制、参加無料)

参加人数：20名

[オリエンテーション]

講師：津田 しおり (学芸員)

会場：講堂

実施回数：13回

参加者数：計282名

(希望団体対象の解説、予約制、参加無料)

■主な新聞記事等

北海道新聞 記事：9/23, 10/4, 10/13, 11/2, 11/10, 11/11 連載：10/31, 11/1, 11/2, 11/3 広告：7/22, 7/24, 7/25, 7/26, 7/28, 8/1, 8/6, 8/7, 8/9, 8/11, 8/11(ななかまど), 8/12, 8/15, 8/16, 8/17, 8/18, 8/19, 8/22, 8/23, 8/25, 8/28, 8/30, 8/31, 9/2, 9/4, 9/7, 9/10, 9/13, 9/20, 9/23, 9/26, 9/29, 10/1, 10/2, 10/4, 10/9, 10/11, 10/13, 10/17, 10/19, 10/23, 10/28, 10/30, 10/31, 11/4, 11/6, 11/7, 11/8, 11/9, 11/10, 11/15, 11/17, 11/18, 11/19

あさひかわ新聞 9/29, 10/31

北海道通信 10/19

■広報印刷物

ポスター：B2 縦、OK トップコートマット N 135 kg、片面カラー、1,900 枚

チラシ：A4 縦、OK トップコートマット N 110 kg、両面カラー、25,000 枚

観覧券：(招待券) 縦 160×横 60mm、(一般券) 縦 140×横 60mm

OK トップコートマット N 90 kg、片面カラー、24,000 枚

デザイン：やはずの よしゆき (株式会社 20 パーセント)

製作：株式会社総北海

竹久夢二展～憧れの欧米への旅～ 出品目録

No.	作家名	作品名	制作年	技法・材質	寸法 (cm)
憧れの欧米への旅～幻の外遊スケッチ・滞欧米作品～					
1	竹久 夢二	青い目の少女	1931～1933 (昭和6～8)	紙本・水彩	40.5×30.6
2	竹久 夢二	着物の女	1931～1933 (昭和6～8)	紙本・鉛筆・淡彩	59.0×41.5
3	竹久 夢二	扇をもつ女	1932 (昭和7)	板・油彩	33.1×22.5
4	竹久 夢二	うぐいすや (伯林客中)	1932～1933 (昭和7～8)	紙本・彩色	78.6×48.3
5	竹久 夢二	女	1931～1933 (昭和6～8)	紙本・鉛筆・色鉛筆	50.0×43.5
6	竹久 夢二	女	1931～1933 (昭和6～8)	紙本・鉛筆・淡彩	43.5×50.0
7	竹久 夢二	和服の女	1931～1933 (昭和6～8)	紙本・鉛筆・淡彩	30.0×23.5
8	竹久 夢二	横向きの女	1931～1933 (昭和6～8)	紙本・鉛筆・色鉛筆	54.5×36.3
9	竹久 夢二	裸婦	1931～1933 (昭和6～8)	紙本・鉛筆・色鉛筆	53.3×36.0
10	竹久 夢二	サンタモニカの牧場	1931～1932 (昭和6～7)	紙本・鉛筆・墨	32.3×44.0
11	竹久 夢二	パンタロンの女たち	1931～1932 (昭和6～7)	紙本・コンテ	29.×41.5
12	竹久 夢二	少年	1931～1932 (昭和6～7)	紙本・鉛筆	39.9×47.5
13	竹久 夢二	少年	1931～1932 (昭和6～7)	紙本・鉛筆	41.0×47.5
14	竹久 夢二	少女	1931～1933 (昭和6～8)	紙本・鉛筆・色鉛筆	25.5×19.8
15	竹久 夢二	モーパッサン／小説の女	1931～1932 (昭和6～7)	紙本・鉛筆	27.5×20.6
16	竹久 夢二	女	1931～1932 (昭和6～7)	紙本・鉛筆	48.5×39.5
17	竹久 夢二	モントレーの港町	1932 (昭和7)	紙本・淡彩	31.5×45.0
18	竹久 夢二	港と家	1932 (昭和7)	紙本・鉛筆	18.0×24.5
19	竹久 夢二	海岸のホテル	1932 (昭和7)	紙本・鉛筆	21.0×27.8
20	竹久 夢二	港と船	1932 (昭和7)	紙本・鉛筆	18.0×24.5
21	竹久 夢二	港と家	1932 (昭和7)	紙本・鉛筆	18.0×24.5
22	竹久 夢二	人とロバ	1931～1932 (昭和6～7)	紙本・鉛筆	21.5×27.8
23	竹久 夢二	ロバ	1931～1932 (昭和6～7)	紙本・鉛筆	21.5×27.8
24	竹久 夢二	ピズモの牧場	1932 (昭和7)	紙本・鉛筆	19.9×28.2
25	竹久 夢二	ピズモビーチの風景と水着姿	1931～1932 (昭和6～7)	紙本・鉛筆	22.5×29.5
26	竹久 夢二	ポイント・ロボス女性の横顔	1931～1932 (昭和6～7)	紙本・鉛筆	44.5×31.0

27	竹久 夢二	ポイント・ロボスの女性	1931～1932(昭和6～7)	紙本・鉛筆	44.5×31.0
28	竹久 夢二	ポイント・ロボス腰かける女性	1931～1932(昭和6～7)	紙本・鉛筆	44.5×31.0
29	竹久 夢二	祈り	1931～1933(昭和6～8)	紙本・鉛筆	27.5×22.8
30	竹久 夢二	針仕事の女	1931～1933(昭和6～8)	紙本・鉛筆・色鉛筆	44.5×31.5
31	竹久 夢二	女	1931～1933(昭和6～8)	紙本・鉛筆・色鉛筆	59.8×59.8
32	竹久 夢二	女の顔	1931～1933(昭和6～8)	紙本・鉛筆	29.0×22.9
33	竹久 夢二	ピッピーの横顔とパイプ	1931～1933(昭和6～8)	紙本・鉛筆	29.7×23.8
34	竹久 夢二	ソーテル村の人々	1932(昭和7)	紙本・ペン	30.0×44.6
35	竹久 夢二	ピッピー	1931～1933(昭和6～8)	紙本・鉛筆・色鉛筆	28.5×23.5
36	竹久 夢二	タコマ号 船旅の思い出	1932(昭和7)	紙本・ペン	33.0×23.5
37	竹久 夢二	サンマリノ市のハンテントン美術・図書館	1931～1932(昭和6～7)	紙本・鉛筆	22.5×30.9
38	竹久 夢二	女の顔	1931～1933(昭和6～8)	紙本・鉛筆・色鉛筆	22.0×28.9
39	竹久 夢二	女の横顔	1931～1933(昭和6～8)	紙本・鉛筆	24.3×31.8
40	竹久 夢二	メイン街で働く人々	1931～1932(昭和6～7)	紙本・鉛筆	16.5×41.8
41	竹久 夢二	タコマ号の船上にて	1932(昭和7)	紙本・ペン	34.5×24.0
42	竹久 夢二	診察を受ける兵士	1932(昭和7)	紙本・ペン	34.5×24.0
43	竹久 夢二	カイロのいかもの師	1932(昭和7)	紙本・鉛筆・色鉛筆	22.8×28.9
44	竹久 夢二	お茶を飲む老女と男	1931～1933(昭和6～8)	紙本・鉛筆	22.5×29.9
45	竹久 夢二	女と本とトルストイの顔	1931～1933(昭和6～8)	紙本・鉛筆	22.0×28.5
46	竹久 夢二	キャバレーの客	1931～1933(昭和6～8)	紙本・鉛筆	23.0×39.0
47	竹久 夢二	昼食の女	1932(昭和7)	紙本・鉛筆	23.8×29.7
48	竹久 夢二	花を買う男	1932～1933(昭和7～8)	紙本・鉛筆	22.9×28.9
49	竹久 夢二	花過ぎ	1932～1933(昭和7～8)	紙本・水墨	40.0×28.0
50	竹久 夢二	あめりかに	1932～1933(昭和7～8)	紙本・水墨	40.0×28.0
51	竹久 夢二	庭石に	1932～1933(昭和7～8)	紙本・水墨	40.0×28.0
52	竹久 夢二	山間思人	1932～1933(昭和7～8)	紙本・水墨	28.0×40.0
53	竹久 夢二	花とトンボ	1933(昭和8)	和紙・水墨	37.5×28.5
54	竹久 夢二	日本娘	1933(昭和8)	和紙・水墨	37.5×28.5

55	竹久 夢二	ウィーン市場の女	1932(昭和7)	紙本・鉛筆	17.5×24.0
56	竹久 夢二	ウィーン物売りの人々	1932～1933(昭和7～8)	紙本・鉛筆	17.5×23.8
57	竹久 夢二	花売り	1932～1933(昭和7～8)	紙本・鉛筆	22.9×28.9
58	竹久 夢二	荷馬車	1932～1933(昭和7～8)	紙本・鉛筆	20.5×30.0

夢二の肉筆画にみる～日本の情緒と恋愛模様～

59	竹久 夢二	赤い手袋の女	1912～(大正初期)	紙本・彩色	50.0×35.8
60	竹久 夢二	ほおかぶり	1912～(大正初期)	紙本・彩色	30.9×23.4
61	竹久 夢二	人魚	1912～(大正初期)	紙本・油彩	35.5×27.5
62	竹久 夢二	初日ノ出	1912～(大正初期)	紙本・彩色	29.0×22.0
63	竹久 夢二	白兎馬	1912～(大正初期)	紙本・彩色	28.5×22.0
64	竹久 夢二	花過ぎや	1912～(大正初期)	紙本・彩色	56.0×75.5
65	竹久 夢二	はつ夏や	1917(大正6)	紙本・彩色	104.2×32.2
66	竹久 夢二	アマリリス	1912～(大正初期)	紙本・彩色	122.6×29.5
67	竹久 夢二	うちのこの子は	1912～(大正初期)	紙本・彩色	90.2×216.0
68	竹久 夢二	歌麿の女	1913(大正2)	絹本・彩色	104.0×35.0
69	竹久 夢二	紅燈歌	1912～(大正初期)	紙本・彩色	128.0×30.0
70	竹久 夢二	室之津懐古	1916～1917(大正5～6)	紙本・彩色	130.3×30.2
71	竹久 夢二	加茂の霞台	1912～(大正初期)	絹本・彩色	26.5×23.7
72	竹久 夢二	大正風俗図	1925(大正14)	絹本・彩色	117.0×35.5
73	竹久 夢二	早春第一枝	1926～(昭和初期)	紙本・彩色	125.0×32.3
74	竹久 夢二	涼み	1922～(大正末期)	絹本・彩色	117.5×34.0
75	竹久 夢二	さためなく	1917～(大正中期)	紙本・彩色	115.0×230.6
76	竹久 夢二	南枝早春図	1926～(昭和初期)	紙本・彩色	130.0×33.4
77	竹久 夢二	秋晴れ	1926～(昭和初期)	紙本・彩色	135.0×32.6
78	竹久 夢二	どんぐり橋	1912～(大正初期)	絹本・彩色	70.1×35.1
79	竹久 夢二	奈良の旧都	1917～(大正中期)	紙本・彩色	128.2×33.0
80	竹久 夢二	雪あそび(十二ヶ月の内)	1926～(昭和初期)	紙本・彩色	94.0×31.0

81	竹久 夢二	秋、少年(十二ヶ月の内)	1926～(昭和初期)	紙本・彩色	94.0×31.0
82	竹久 夢二	南都懐古(自画像)	1926～(昭和初期)	絹本・彩色	127.6×34.5
83	竹久 夢二	鴨東白夜	1926～(昭和初期)	絹本・彩色	124.9×34.6
84	竹久 夢二	桜井八重子宛手紙	1919(大正8)	紙本・墨書	24.3×34.1
85	竹久 夢二	長尾老台宛手紙	1914(大正3)	紙本・墨書	上下各16.9× 上下各63.0
86	竹久 夢二	南枝早春(紅梅)	1926～(昭和初期)	絹本・彩色	20.0×36.0
87	竹久 夢二	山峡の	1926～(昭和初期)	紙本・彩色	132.5×33.5
88	竹久 夢二	春の山	1926～(昭和初期)	紙本・彩色	47.0×22.0
89	竹久 夢二	舞妓扇	1917～(大正中期)	紙本・彩色	124.2×29.1
90	竹久 夢二	K夫人	1916～1917(大正5～6)	紙本・彩色	132.8×29.3
91	竹久 夢二	こたつ (中村扇雀丈へ)	1912～(大正初期)	紙本・彩色	132.7×246.0
92	竹久 夢二	宵の新内	1917～(大正中期)	紙本・彩色	119.1×29.4
93	竹久 夢二	浴後の女	1912～(大正初期)	紙本・彩色	133.5×33.2
94	竹久 夢二	短夜	1912(大正初期)	紙本・彩色	121.4×30.3
95	竹久 夢二	秋の鏡	1917～(大正中期)	紙本・彩色	135.0×33.0
96	竹久 夢二	道行	1918～1919(大正7～8)	絹本・彩色	97.2×40.2
97	竹久 夢二	星まつり	1926～(昭和初期)	絹本・彩色	115.0×27.4
98	竹久 夢二	舞妓舞扇	1917(大正6)	絹本・彩色	106.5×31.6

夢二がみた関東大震災スケッチ

99	竹久 夢二	関東大震災・焼け跡	1923(大正12) 9月14日～10月4日まで連載	ペン・紙	14.0×21.2
100	竹久 夢二	関東大震災・尋ね人	1923(大正12) 9月14日～10月4日まで連載	ペン・紙	14.0×21.2
101	竹久 夢二	関東大震災・父と子	1923(大正12) 9月14日～10月4日まで連載	ペン・紙	14.0×21.2
102	竹久 夢二	関東大震災・おみくじ場	1923(大正12) 9月14日～10月4日まで連載	ペン・紙	14.0×21.2
103	竹久 夢二	関東大震災・焼け跡(築地茶亭)	1923(大正12) 9月14日～10月4日まで連載	ペン・紙	14.0×21.2
104	竹久 夢二	世界童話全集	制作年不詳		
105	竹久 夢二	京の雨 挿絵	制作年不詳	ペン・紙	30.0×21.5

106	竹久 夢二	祇園春宵(人形売り)	1912～(大正初期)	絹本・彩色	47.6×33.7
107	竹久 夢二	湖畔の舞妓	1912～(大正初期)	絹本・彩色	34.0×26.2
108	竹久 夢二	袖萩祭文	1912～(大正初期)	絹本・彩色	43.3×57.1

浮世絵版画の伝統手法～夢二オリジナル版画「港屋版」「柳屋版」

109	竹久 夢二	港屋売出し チラシ<港屋版>	1914(大正3)	木版・紙	23.0×32.5
110	竹久 夢二	風景<港屋版>	1914(大正3)	木版・紙	23.5×32.0
111	竹久 夢二	化粧する女<港屋版>	1914(大正3)	木版・紙	32.0×22.0
112	竹久 夢二	小春<港屋版>	1914(大正3)	木版・紙	42.0×27.0
113	竹久 夢二	治兵衛<港屋版>	1914(大正3)	木版・紙	42.0×27.0
114	竹久 夢二	新富座当り狂言 雁治郎の忠兵衛・福助の梅川<港屋版>	1914(大正3)	木版・紙	35.9×26.3
115	竹久 夢二	文楽人形<港屋版>	1914(大正3)	木版・紙	36.1×27.0
116	竹久 夢二	ほおかぶり<港屋版>	1914(大正3)	木版・紙	24.2×20.0
117	竹久 夢二	一座の花形<港屋版>	1914(大正3)	木版・紙	25.4×21.5
118	竹久 夢二	港屋絵草紙店<港屋版>	1914(大正3)	木版・紙	35.0×27.0
119	竹久 夢二	船出<柳屋版>	1920(大正9)	木版・紙	33.0×46.0
120	竹久 夢二	宝船<柳屋版>	1920(大正9)	木版・紙	57.0×39.5
121	竹久 夢二	夜の歌	1915(大正4)	木版・紙	28.0×20.0
122	竹久 夢二	お夏<柳屋版>	1920(大正9)	木版・紙	37.0×23.0
123	竹久 夢二	春の宵	1915(大正4)	木版・紙	28.0×20.0
124	竹久 夢二	裸婦<柳屋版>	1920(大正9)	木版・紙	34.0×26.0
125	竹久 夢二	子供	制作年不詳	石版・紙	41.5×26.0
126	竹久 夢二	ポチ袋	制作年不詳		
127	竹久 夢二	絵封筒	制作年不詳		
128	竹久 夢二	港屋絵草子店	制作年不詳		
129	竹久 夢二	『大大阪』木版表紙	制作年不詳		
130	竹久 夢二	口絵集	制作年不詳		
131	竹久 夢二	『若草』雑誌装丁	制作年不詳		
132	竹久 夢二	画箋	制作年不詳		
133	竹久 夢二	手帖	制作年不詳		
134	竹久 夢二	絵ハガキ集	制作年不詳		
135	竹久 夢二	富士見高原療養所	制作年不詳		

136 竹久 夢二 令女界新年号附録 歌留多
(蒔谷虹児と合作) 制作年不詳

愛する人を描いた夢二のスケッチブック

137 竹久 夢二 スケッチ <スケッチ帳より>
(10点) 1925(大正14) 鉛筆・紙 26.0×18.0

138 竹久 夢二 デッサン <手帳より> (20点) 1929(昭和4) 鉛筆・紙 17.7×13.0

夢二 抒情的楽譜の装幀～セノオ楽譜・中山晋平楽譜～

139 竹久 夢二 No. 211 「スワニー河の歌」 1916～(大正5～昭和初期) オフセット 30.8×23.0

140 竹久 夢二 No. 124 「菩提樹の歌」 1916～(大正5～昭和初期) オフセット 30.8×23.0

141 竹久 夢二 No. 71 「悲しきけしき」 1916～(大正5～昭和初期) オフセット 30.8×23.0

142 竹久 夢二 No. 158 「アベマリア」 1916～(大正5～昭和初期) オフセット 30.8×23.0

143 竹久 夢二 No. 165 「愛の古き歌」 1916～(大正5～昭和初期) オフセット 30.8×23.0

144 竹久 夢二 No. 68 「SERENADE」 1916～(大正5～昭和初期) オフセット 30.8×23.0

145 竹久 夢二 No. 237 「夢見草」 1916～(大正5～昭和初期) オフセット 30.8×23.0

146 竹久 夢二 No. 248 「流れ星」 1916～(大正5～昭和初期) オフセット 30.8×23.0

147 竹久 夢二 No. 252 「わが心は」 1916～(大正5～昭和初期) オフセット 30.8×23.0

148 竹久 夢二 No. 261 「ボッカ・ボッカ・ベルラ」 1916～(大正5～昭和初期) オフセット 30.8×23.0

149 竹久 夢二 No. 249 「白き手に」 1916～(大正5～昭和初期) オフセット 30.8×23.0

150 竹久 夢二 No. 318 「海辺の別れ」 1916～(大正5～昭和初期) オフセット 30.8×23.0

151 竹久 夢二 No. 420 「薔薇の花」 1916～(大正5～昭和初期) オフセット 30.8×23.0

152 竹久 夢二 No. 357 「陽気な鍛冶屋」 1916～(大正5～昭和初期) オフセット 30.8×23.0

153 竹久 夢二 No. 360 「ドントクライスワニイ」 1916～(大正5～昭和初期) オフセット 30.8×23.0

154 竹久 夢二 No. 386 「夢に見る君」 1916～(大正5～昭和初期) オフセット 30.8×23.0

155 竹久 夢二 No. 371 「草の中にて唱へる」 1916～(大正5～昭和初期) オフセット 30.8×23.0

156 竹久 夢二 No. 404 「白鳥」 1916～(大正5～昭和初期) オフセット 30.8×23.0

157 竹久 夢二 No. 388 「アヴェマリア」 1916～(大正5～昭和初期) オフセット 30.8×23.0

158 竹久 夢二 No. 343 「桜町」 1916～(大正5～昭和初期) オフセット 30.8×23.0

159 竹久 夢二 「愛して頂戴」 1930(昭和5) 木版・紙 34.2×23.0

160 竹久 夢二 「鴨川小唄」 1930(昭和5) 木版・紙 34.2×23.0

161 竹久 夢二 「東京行進曲」 1930(昭和5) 木版・紙 34.2×23.0

162	竹久 夢二	「当世銀座ぶし」	1930(昭和5)	木版・紙	34.2×23.0
163	竹久 夢二	「マノン・レスコオの唄」	1930(昭和5)	木版・紙	34.2×23.0
164	竹久 夢二	「青い芒」	1930(昭和5)	木版・紙	34.2×23.0
165	竹久 夢二	「夢の女」	1930(昭和5)	木版・紙	34.2×23.0
166	竹久 夢二	「波浮の港」	1930(昭和5)	木版・紙	34.2×23.0

夢二の大正お洒落図案～流行ファッションを発信した『婦人グラフ』～

167	竹久 夢二	星合せ (挿絵)	1924(大正13)年7月号	木版・紙	25.0×12.0
168	竹久 夢二	花火大正 (表紙)	1924(大正13)年8月号	木版・紙	18.5×21.0
169	竹久 夢二	勇敢な恋人 (口絵)	1924(大正13)年8月号	木版・紙	23.0×10.5
170	竹久 夢二	秋の果実 (表紙)	1924(大正13)年9月号	木版・紙	18.0×18.5
171	竹久 夢二	化粧 (表紙)	1924(大正13)年10月号	木版・紙	18.0×19.5
172	竹久 夢二	伴天連 (挿絵)	1924(大正13)年11月号	木版・紙	27.0×12.0
173	竹久 夢二	七夕 (表紙)	1926(大正15)年7月号	木版・紙	18.5×19.0
174	竹久 夢二	霜葉散る (表紙)	1926(大正15)年10月号	木版・紙	18.0×19.0
175	竹久 夢二	雪の夜の伝説 (口絵)	1926(大正15)年12月号	木版・紙	22.0×16.0
176	竹久 夢二	トランプ占い (口絵)	1927(昭和2)年1月号	木版・紙	20.5×16.0
177	竹久 夢二	『新少女』新年号付録 家族双六	制作年不詳	石版・紙	54.2×39.6
178	竹久 夢二	『少女倶楽部』新年号付録 少女十二ヶ月双六	制作年不詳	石版・紙	54.8×79.1
179	竹久 夢二	カバー	1930(昭和5)	木版・紙	34.2×23.0
180	竹久 夢二	目次	1930(昭和5)	木版・紙	34.2×23.0
181	竹久 夢二	セノオ楽譜 No.106「宵待草」	1916～(大正5～昭和初期)	木版・紙	30.8×23.1
182	竹久 夢二	セノオ楽譜 No.10「お江戸日本橋」	1916～(大正5～昭和初期)	木版・紙	30.8×23.2
183	竹久 夢二	著作本・装丁本	制作年不詳		

※記載データは全て企画元提供のデータに基づいた。
※寸法は所蔵先のデータがある作品のみ記載。

TAKEHISA Yumeji Exhibition :
A Dream Trip to Europe and America

夢二が描いた大正の哀愁とロマン&モダン

2023.9月23日〔土・祝〕—11月19日〔日〕

竹久 夢二 展

憧れの欧米への旅



竹久夢二(舞妓舞踊)(部分)
1917(大正6)年

開館時間：午前9時30分～午後5時(入場は午後4時30分まで)

休館日：月曜日〔ただし10月9日(月/祝)、11月6日(月)は閉館〕、10月10日(火)

*芸術週間(11月1日～11月7日)は休まず開館

観覧料：一般1,000(800)円、高大生600(400)円、中学生以下無料

*〔 〕内は前売り、10名以上の団体料金。

*当館では前売券を2023年9月22日(金)まで販売しています。*障害者手帳をお持ちの方等は無料。

*リピーター割引、旭川リンクミュージアムによる割引など、お得な割引料金もあります。

詳しくは旭川美術館までお問い合わせください。

■主催：北海道立旭川美術館、竹久夢二展旭川市長実行委員会 ■共催：北海道新聞旭川支社

■後援：旭川市、旭川市教育委員会、愛別町教育委員会、上川町教育委員会、

鷹栖町教育委員会、当麻町教育委員会、美瑛町教育委員会、東川町教育委員会、

東神楽町教育委員会、比布町教育委員会、NHK旭川放送局、旭川ケーブルテレビ「ポテト」、

FMクベール、あさひかわ新聞、旭川商工会議所、旭川美術振興会

■協力：竹久夢二文学館神戸文庫

■監修：中右環(国際浮世絵学会常任理事) ■企画協力：ステップ・イースト

北海道立旭川美術館

Hokkaido Asahikawa Museum of Art

〒070-0044 旭川市常盤公園内 TEL.0166-25-2577

HP <https://artmuseum.pref.hokkaido.lg.jp/abj>

Twitter @Asahikawa_Art Instagram asahikawa_art





《集物の女》1931～1933(昭和6～8年)



《赤い手巻の女》(大正初期～)



《繪屋紙草紙店》1914(大正3年)



《夢見草》1916(大正5年)～昭和初期

「夢二式美人」と称される独自の画風で知られる画家、竹久夢二(1884～1934)。夢二は明治末から昭和初期にかけて、雑誌の口絵や挿絵、本の装幀、絵はがきなどを手がけイラストレーター、デザイナーの先駆けとして活躍しました。詩や童話など文芸の分野にも取り組むなど、その活動は多岐にわたりました。

たまきや彦乃、お葉といった美しい女性たちとの出会いは、創作の源泉となりました。晩年、夢二は彼女たちとの離別の果て、往年の夢であった欧米へ外遊します。世界的不況や自身の体調不良に見舞われながらも、各地の風景や女性たちを心情のままに描き留めました。

本展は、日本有数の夢二コレクターである中右瑛(なかう・えい)氏の所蔵品の中から「幻のスケッチ」と呼ばれた滞欧、滞米時の貴重なスケッチを中心に、雑誌の口絵や挿絵に加え、多数の肉筆画を紹介します。哀愁とロマンあふれる夢二の世界をお楽しみください。

関連事業

中右瑛氏ギャラリートーク&講演会

本展監修者で国際浮世絵学会常任理事の中右瑛(なかう・えい)氏をお迎えします。

■ギャラリートーク

日時:10月6日(金)午後3時～(約30分)
会場:当館第1展示室(要観覧券)

■講演会【事前募集制】

日時:10月7日(土)午前10時30分～(約90分)
会場:当館講堂(聴講無料、定員50名)

マダムケロコと学芸員のギャラリートーク【事前募集制】

日時:10月12日(木)、11月2日(木)各日午後6時～(約1時間)
講師:マダムケロコ(FMリバーパーソナリティ)、当館学芸員
会場:当館第1展示室(要観覧券、各回定員30名)

お茶会

日時:10月29日(日)午前10時～(茶菓がなく次第終了)
協力:表千家同門会旭川支部・旭川地区青年部
会場:当館ロビー
*内容・参加料の詳細は別途、事業ちらしやホームページでお知らせします。

30分でわかる!学芸員の見どころ解説

日時:9月24日(日)、11月10日(金)、11月18日(土)
各日午後2時～(約30分)
会場:当館講堂(聴講無料、各回定員50名)

事前募集制イベントの申込方法:

8月4日(金)より電話(0166-25-2577)にて受付。
*休館日(月曜、月曜が祝日の場合、翌火曜)を除く、午前9時30分～午後5時の間にお電話ください。定員に達しだい、締め切らせていただきます。

第2展示室のご案内

木の匠たち

伝統工芸から家具、クラフトまで

日本では木を素材とした伝統工芸が古くから発展し、また生活に身近な日用品にも木が取り入れられ、親しまれてきました。さまざまな樹種の特徴を生かし、趣向を凝らした優品の数々を通して、木の匠たちの技と表現に迫ります。



村山明
(榎試水産)
2017(平成29年) 当館蔵

観覧料:一般260(210)円、高大生150(110)円、
中学生以下、65歳以上無料。

* ()内は10名以上の団体料金。
*高校生は土曜日ならびに学校の教育活動での利用は無料。
*芸術鑑賞(11月1日～11月7日)はどなたも無料。

交通案内

- 徒歩:JR旭川駅から約20分。
- バス:JR旭川駅北側の1条通のゆげバス停(1条6丁目)か63-23-24-33-35番のバスに乗車。最寄りのバス停は(4条4丁目)(3-33-35番)、徒歩5分。または(8条西1丁目)(23-24番)、徒歩3分。また、バス停(常盤公園前)を経由するバス(バス停から徒歩7分)もご利用いただけます。
- タクシー:JR旭川駅から約10分、800円程度。
- 駐車場:常盤公園駐車場(無料/午前9時～午後5時)をご利用いただけますが、台数に限りがあります。

*展覧会及びイベントの予定は、変更となることがございます。
美術館HPなどでご確認ください。



憧れの欧米への旅



蔵出し！木彫の味わい

Wood Sculptures from the Museum Collection

会 期：令和6年（2024年）1月6日（土）～3月17日（日）

主 催：北海道立旭川美術館

共 催：北海道新聞旭川支社

北海道立旭川美術館は開館以来、「木の造形」を作品収集の一つの柱としてきた。その中から彫刻の分野にスポットを当てた展覧会である。

木は私たちにとって古くから身近で、日常になくってはならない存在であり、使用する木の種類や部材、あるいは他の素材との併用によって、多彩な表現が可能になる。樹齢数百年にもなる一本の大木から生まれたもの、風合いの異なる何種類もの木材を組み合わせたもの、金箔や絵の具などで彩られているもの、廃材を利用しているものなど、彫刻家たちは、それぞれ木と向き合いながら、独自の作品を創作している。

本展では国内外のアートシーンで活躍する木彫家の作品、北の大地で育まれた木を用いた作品などを紹介。60日間の会期で1,884名が来場した。

■関連事業

[上映会&トーク「音威子府を語る」]

2月24日（土） 午後1時30分～3時45分

映像出演：デイヴィッド・ナッシュ氏（彫刻家）、砂澤 涼子氏（砂澤ビッキ夫人）

講 師：中村 聖司氏（北海道立近代美術館学芸副館長）

会 場：講堂（事前募集制、参加無料）

協 力：大和日英基金

参加人数：54名

[学芸員によるギャラリートーク]

講 師：寺地 亜衣（学芸員）

会 場：第1展示室（自由参加、要観覧券）



1月19日（金）午後2時～（約30分）

参加人数：7名



2月16日（金）午後2時～（約30分）

参加人数：6名



3月15日（金）午後2時～（約30分）

参加人数：13名

〔彫刻の魅力発見！子ども鑑賞ツアー〕

講師：寺地 亜衣（学芸員）

会場：第1展示室（事前募集制、要観覧券）



1月12日（金）午前11時～（約30分）

参加人数：3名



3月9日（土）午前11時～（約30分）

参加人数：16名

〔教員のための鑑賞研修〕

1月11日（木）午前10時～（約60分）

講師：寺地 亜衣（学芸員）

会場：講堂、第1展示室（事前募集制、参加無料）

参加人数：1名

〔オリエンテーション〕

講師：寺地 亜衣（学芸員）

会場：講堂

実施回数：1回

参加者数：10名

（希望団体対象の解説、予約制、参加無料）

■主な新聞記事等

北海道新聞 記事：12/13, 1/9, 1/12 広告：12/14, 12/15, 12/16, 12/22, 12/23, 12/24, 12/26, 12/27, 1/4, 1/8, 1/10, 1/14, 1/15, 1/16, 1/17, 1/18, 1/19, 1/20, 1/23, 1/24, 1/25, 1/26, 1/27, 1/30, 2/1, 2/5, 2/6, 2/8, 2/9, 2/11, 2/14, 2/17, 2/18, 2/19, 2/20, 2/21, 2/22, 2/23, 2/25, 2/26, 2/27, 2/28, 2/29, 3/2, 3/3, 3/4, 3/5, 3/7, 3/8, 3/9, 3/11, 3/12, 3/13, 3/14, 3/15, 3/16

北海道通信 12/27, 1/24, 2/1, 3/1

■広報印刷物

ポスター：B2 縦、OK トップコートマット N 135 kg、片面カラー、1,300 枚

チ ラ シ : A4 縦、OK トップコートマット N 110 kg、両面カラー、15,000 枚

観 覧 券 : (招待券) 縦 160×横 60mm、(一般券等) 縦 140×横 60mm

OK トップコートマット 90 kg、片面カラー、5,000 枚

デザイン : 佐藤守功 (佐藤守功デザイン事務所)

製 作 : 株式会社須田製版

蔵出し！木彫の味わい 出品目録

No.	作家名	作品名	制作年	技法・材質	寸法(cm)
1	阿部 典英	Mokuhosojin	1986 (昭和61)	シナ・イタヤカエデ・染料・黒鉛・メジウム	275.0×155.0×45.0
2	岡沼 淳一	残雪	1995 (平成7)	ニレ (埋れ木) ・鉄	70.5×66.0×10.0
3	北山 善夫	思いでの思いで	1982 (昭和57)	木・竹・紙・革・鉛	190.0×150.0×150.0
4	橘 昭信	風の樞 II-28	1995 (平成7)	カマツカ・ステンレス線	250.0×120.0×215.0
5	高橋 昭五郎	双水	1985 (昭和60)	カツラ	200.0×68.0×55.0
6	向山 潔	夜想	1995 (平成7)	クス・パイプ・シャフト (鉄) ・ベアリング	240.0×158.0×213.0
7	澄川 喜一	そりのあるかたち-94	1994 (平成6)	エンジュ・ケヤキ	280.0×115.5×68.0
8	保田井 智之	間の曖昧な地図 (2点組)	2001 (平成13)	スプルス・サワラ・ヒノキ・ブナ・ブロンズ・砥の粉・アクリル絵具／パルプ	138.0×60.0×15.0 (木・ブロンズ) 128.0×56.0×13.5 (パルプ)
9	土屋 公雄	目を閉じて	1990 (平成2)	木 (マッチ)	経47.0×5.5
10	深井 隆	逃れゆく思念—青空または瞑想	1991 (平成3)	クス (樟) ・金箔	135.0×130.0×55.0
11	高田 吉朗	流域の記憶 I	1996 (平成8)	木 (モチ他) ・陶	120.0×120.0×120.0
12	菅 木志雄	景間—E	1991 (平成3)	サワラ・スギ・石	141.0×217.0×165.0
13	田窪 恭治	黄昏の娘たち (83-4)	1983 (昭和58)	木・鉄・金箔・蜜蝋	227.5×59.0×16.5
14	菅 木志雄	枝に沿ってある	1982~1983 (昭和57~58)	合板・枝	192.0×156.0×9.0
15	小清水 漸	表面から表面へ	1993 (平成5)	米松	(各) 300.0×40.0×6.0
16	彦坂 尚嘉	PWP44 インディアン・サマー	1981 (昭和56)	木・アクリル絵具	229.0×171.5×16.6
17	菅沼 緑	無題	1985 (昭和60)	木 (チーク他) ・象嵌	170.0×36.0×41.0
18	植木 茂	自然の風物 No.1	1983 (昭和58)	ブナに彩色・竹ヒゴ・和紙	53.0×45.0
19	植木 茂	自然の風物 No.2	1983 (昭和58)	ブナに彩色・竹ヒゴ・和紙	53.0×45.0
20	植木 茂	トルソ	1962 (昭和37)	タモ	131.0×54.0×26.0
21	本田 明二	しゃがむ女	1978 (昭和53)	木	95.0×45.0×45.0
22	三宅 一樹	素脚詞 VII	2003 (平成15)	カヤ・クス	70.0×70.0×200.0
23	舟越 桂	午後にはガンター・グローヴにいる	1988 (昭和63)	クス・大理石・アクリル絵具	183.0×66.0×38.0

24	峯田 敏郎	記念撮影—北緯35度	2005 (平成17)	ホオ・ベニマツ・胡粉・朱墨	124.0×150.0×77.0
25	黒蔵 壮	明日へのとびら	1996 (平成8)	クス・ホオ・鉄	233.0×241.0×140.0
26	デイヴィッド・ナッシュ	ブナとカエデのクラッキング グ・ボックス	1989	ブナ・カエデ	各60.0×59.0×59.0
27	建畠 覚造	CLOUD-36	1984 (昭和59)	合板・木	56.0×120.0×17.0
28	大平 實	Santa Ana Wind #5	2001 (平成13)	カエデ・シナ・廢材	122.0×125.0×102.0
29	戸谷 成雄	森	1990 (平成2)	彩色(アクリル絵具)・米 ツガ・灰	219.0×30.0×30.0
30	遠藤 利克	泉	1992 (平成4)	スプルース・鉄・タール	経136.0×104.0
31	デイヴィッド・ナッシュ	十字形に焦がした卵	1994	木炭・紙	135.0×91.0
32	デイヴィッド・ナッシュ	音威子府(春、夏、冬 1993-94)プロジェクトの ためのドローイング	1993~94	パステル・木炭・キャン バス・紙	213.5×360.7
33	デイヴィッド・ナッシュ	榛の炉・音威子府	1993	音威子府でのイベントの3 枚組記録写真(作家本人 撮影)	104.5×66.0
34	デイヴィッド・ナッシュ	十字形に焦がした卵	1994	ミズナラ	178.0×93.0
35	砂澤 ビッキ	集吸呼A	1986 (昭和61)	クルミ・カツラ	198.0×146.0×35.0
36	砂澤 ビッキ	四季の面	1988 (昭和63)	ニレ(埋れ木)・カツラ・ ナラ	242.5×63.0×46.0

※作品はすべて当館蔵。

※寸法は平面作品が縦×横、立体作品は注記以外は高さ×幅×奥行き。

Wood Sculptures from the Museum Collection



2024

01/06
SAT.



03/17
SUN.

休館日：月曜日(ただし1/8[月]、2/12[月]は開館)、
1/9(火)、16(火)、17(水)、2/13(火)
開館時間：午前9時30分～午後5時
(入場は午後4時30分まで)

[観覧料]

一般510(400)円、高大生300(250)円、
65歳以上・中学生以下・土曜日の高校生は無料

- * ()内は10名以上の団体料金、前売料金。
- * 学校の教育活動で利用する小・中・高校生とその引率者は無料。
- * 障害者手帳をお持ちの方等は無料。
- * リピーター割引、旭川リンクリンクミュージアムによる割引など、
お得な割引料金もあります。
詳しくは旭川美術館までお問い合わせください。
- * 前売券は2024年1月5日(金)まで当館で販売します。

主催：北海道立旭川美術館
共催：北海道新聞旭川支社

蔵出し！ 木彫の味わい

北海道立旭川美術館
Hokkaido Asahikawa Museum of Art

〒070-0044 旭川市常磐公園内 TEL. 0166-25-2577

<https://artmuseum.pref.hokkaido.lg.jp/abj>

✕ @Asahikawa_Art @asahikawa_art



深井隆
《逃れゆく思念—青空または瞑想》1991年
樟(くす)、金箔 当館蔵

北海道立旭川美術館は開館以来、「木の造形」を作品収集の一つの柱としてきました。そのなかから本展では、彫刻の分野にスポットを当てます。

木は私たちにとって古くから身近であり、日常になくはならない存在です。彫刻としては使用する木の種類や部材、あるいは他の素材との併用によって、多彩な表現が可能になります。樹齢数百年にもなる一本の大木から生まれたもの、風合いの異なる何種類もの木材を組み合わせたもの、金箔や彩色が施されているもの、廃材を利用しているもの……。彫刻家たちは、おのおの木と向き合って創作していますが、その方法や思考はさまざまです。

本展では国内外のアートシーンで活躍する木彫家の作品、北の大地で育まれた木を用いた作品などを紹介します。見れば見るほどに味わい深い、現代木彫の世界をお楽しみください。



砂澤ビッキ《集吸呼 A》1986年 クルミ、カツラ



植木茂《トルソ》1962年 タモ



戸谷成雄《森》1990年
米ツガ・彩色(アクリル絵具)、灰

蔵出し！ 木彫の味わい



デイヴィッド・ナッシュ《音威子府(春、夏、冬 1993-94)プロジェクトのためのドローイング》
1993~94年 パステル、木炭、キャンバスに紙

※すべて当館蔵

Wood Sculptures from the Museum Collection

関連事業

① 冬のウディ★工作アトリエ 2024 「世界にたった一つの木琴をつくろう!!」

日時：2月25日(日)
午前10時～/午後2時～(各回約90分)
講師：北海道旭川農業高等学校 森林科学科 森林資源活用班 当館学芸員
会場：当館講堂・第1展示室
対象：小学生(参加無料)
定員：各回10名
(事前申込制：1月24日[水]
午前9時30分より電話受付開始)

② 上映会&トーク 「音威子府を語る」

2023年6月16日(金)～8月10日(木)、ロンドンで開催された砂澤ビッキ展「TENTACLE by Bikky Sunazawa」(大和日英基金主催)の関連イベントとして実施された対談の記録映像(英語に日本語字幕付き)を上映します。また、デイヴィッド・ナッシュが滞在した1993～94年頃の音威子府村について解説していただきます。
日時：2月24日(土)
午後1時30分～3時45分(途中休憩あり)
映像出演：デイヴィッド・ナッシュ氏(彫刻家)
砂澤涼子氏(砂澤ビッキ夫人)
解説：中村聖司氏(北海道立近代美術館学芸副館長)
会場：当館講堂(参加無料)
定員：50名(事前申込制：12月22日[金]
午前9時30分より電話受付開始)
協力：大和日英基金

③ 学芸員による ギャラリートーク

展示室を巡りながら、作品の見どころを話してゆきます。
日時：1月19日(金)
2月16日(金)
3月15日(金)
午後2時～(各回約30分)
講師：当館学芸員
会場：当館第1展示室(観覧券が必要です)
定員：各回20名程度
※申込不要(先着順)

④ 彫刻の魅力発見！ 子ども鑑賞ツアー

子どもたちが主役のツアー。学芸員と一緒に、作品を見ながらお話しします。
日時：1月12日(金)/3月9日(土)
午前11時～(各回約30分)
講師：当館学芸員
会場：当館第1展示室(保護者の方々は観覧券が必要です)
対象：主に小学生(低学年は保護者の付き添いをお願いします)
定員：各回10組程度
(事前申込制：12月22日[金]
午前9時30分より電話受付開始)

お申し込み：0166-25-2577

▽展覧会や関連事業の日程、内容は、やむをえず変更となる場合がございます。最新の情報は当館ホームページ等でご確認ください。

【第2展示室のご案内】

北海道美術の1980年代 2024年1月18日(木)～3月17日(日)

1980年代、絵画や彫刻といった分野にとらわれないさまざまな表現が広く展開されました。この年代に北海道で生まれた美術の動きやその背景を作品や関連資料から振り返ります。



観覧料／一般260(210)円
高大生150(110)円
中学生以下無料

* ()内は10名以上の団体料金。
* 高校生は土曜日ならびに学校の教育活動での利用が無料。
* 障害者手帳をお持ちの方等は無料。

川俣正
《PROJECT "TETRA HOUSE N-3 W-26" SAPPORO 1983》マケット
1983/1993年 当館蔵



【交通のご案内】
○徒歩：JR旭川駅から約20分。
○バス：JR旭川駅北側の1条通の14番バス停[1条8丁目]から3・23・24・33・35番のバスに乗り。最寄りバス停は[4条4丁目](3・33・35番)、徒歩5分。または[8条西1丁目](23・24番)、徒歩3分。また、バス停[常盤公園前]を経由するバス(バス停から徒歩7分)もご利用いただけます。
○タクシー：JR旭川駅から約10分、800円程度。
○駐車場：常盤公園駐車場(無料/午前9時～午後5時)をご利用いただけますが、台数に限りがあります。

北海道立旭川美術館
Hokkaido Asahikawa Museum of Art
〒070-0044 旭川市常盤公園内 TEL. 0166-25-2577
https://artmuseum.pref.hokkaido.lg.jp/abj

4-2 所蔵品展

パリへ渡った画家たち

Painters Who Studied in Paris

第1展示室で同時開催した「魅惑の西洋近代絵画」展にちなみ、当館コレクションよりパリへ渡った北海道ゆかりの画家の作品を紹介した。早くから渡仏し巨匠の絵画から古典技法を学んだ山口健智や、パリ市街地を描きコンクールを中心に活躍した武田範芳、幾度となく渡仏しては風景を描き続けた小野州一、フランスで版画家デビューを果たした木原康行など8名による絵画、版画作品を展覧した。

会場には道内作家の1930年代から1980年代にかけての渡仏状況を随意にまとめた略年譜パネルを設置。海外渡航制限など時代の影響を強く受けながら、作家たちが新たな画境を求めてパリに向かったことを示すよう試みた。作品解説パネルでは、渡仏に関連する作家の言葉などを軸に、パリが彼らに与えた影響を探った。

「魅惑の西洋近代絵画」展を目的に訪れた来館者が興味を持ち、鑑賞される様子が多く見受けられた。62日間の会期で7,666人が来場した。

会 期：令和5年（2023年）4月15日（土）～6月25日（日）

主 催：北海道立旭川美術館

■主な新聞記事等

北海道通信 4/21, 4/24, 4/28, 5/31

アートとデザインの空間 遠藤享展

ENDO Susumu: Graphic Art Exhibition

遠藤享（1933～2024）は山梨県甲府市に生まれ、少年期を旭川で過ごした。武蔵野美術学校（現・武蔵野美術大学）中退後、山口正城の指導を受け、桑沢デザイン研究所でグラフィックデザインを学んだ。世界を代表するグラフィックデザイナーとして活躍、道内では旭山動物園のロゴマークデザイン（1967年）でよく知られている。

遠藤はデザインの仕事と並行して版画の制作も行っていた。写真を用いたオフセット・リトグラフの技法を確立し、1990年代からはコンピューター・グラフィックスの技術を導入。自然風景の写真とグラフィックとを重ね合わせた独自の作風を築き上げてゆく。

本展では、旭川で前衛運動に参加した時期の初期作品から、晩年の版画作品までを紹介した。56日間の会期で3,017人が来場した。

会 期：令和5年（2023年）7月8日（土）～9月10日（日）

主 催：北海道立旭川美術館

協 力：ギャラリーシーズ

■関連事業

〔講演会「遠藤享 自作を語る—制作サポートの視点から—」〕

7月8日（土）午後10時30分～12時（約90分）

講 師：遠藤 悦郎氏（グラフィックデザイナー）

会 場：講堂（事前申込制、聴講無料）

参加人数：44名

■主な新聞記事等

北海道新聞 7/1, 7/7, 7/8, 8/19

北海道通信 6/20, 6/30, 7/14, 8/1, 9/1

あさひかわ新聞 7/25

木の匠たち 伝統工芸から家具、クラフトまで

Masters of Japanese Woodcrafts

当館が位置する道北地域は豊富な森林資源に恵まれ、木工や家具産業が盛んに行われている。このことを踏まえ、当館では1982（昭和57）年の開館以来、「木の造形」を収集方針の柱としてきた。

本展ではこうした「木の造形」コレクションのうち工芸に焦点をあて、木工芸分野の人間国宝（重要無形文化財保持者）を含む重要作家による作品や、伝統技法を継承しつつ独自の着想を織り交ぜた木工クラフト、デザイナーと職人の協働によって生み出された家具作品、あわせて約30点を展覧。来館者に、木の匠たちが繰り広げる美しい工芸世界を堪能いただく機会とした。

京都で彫刻を学ぶとともに黒田辰秋の知遇を得て工芸の道に入った村山明が卓越した刳物と拭漆の技法で制作した《櫛緋拭漆舟形盛器》や、江戸木工家の三代目として活躍する須田賢司が精緻な技巧を駆使して作り上げた《栴黒柿拭漆箱「籬」》、2006（平成18）年より継続する「君の椅子」プロジェクトから誕生した《君の椅子2022》など9点の作品は、令和4年度（2022年度）当館に新たに収蔵されて以来、本展が初公開となった。59日間の会期で4,417人が来場した。

会 期：令和5年（2023年）9月23日（土・祝）～12月10日（日）

主 催：北海道立旭川美術館

■関連事業

[講演会「人間国宝 村山明—私と木工芸」]

10月21日(土) 午後2時～(約90分)

講 師：村山 明氏(本展出品作家、重要無形文化財「木工芸」保持者)

会 場：講堂(事前申込制、聴講無料)

参加人数：33名

[講演会「人間国宝 須田賢司—清雅を標に」]

11月4日(土) 午前10時30分～(約90分)

講 師：須田 賢司氏(本展出品作家、重要無形文化財「木工芸」保持者)

会 場：講堂(事前申込制、聴講無料)

参加人数：38名

■主な新聞記事等

北海道新聞 10/19, 11/2

読売新聞 11/1

あさひかわ新聞 10/9

北海道通信 10/19

北海道美術の1980年代

-札幌・旭川に広がる現代美術ネットワーク

Hokkaido's Artworks in the 1980s

1970年代後半から1980年代にかけては、北海道における現代美術の転換期にあたる。国内外の作家たちとの交流展が盛んに開催され、インスタレーション(架設展示)やパフォーマンスなど従来の美術の枠組みを越えた表現の追求が行われた。本展は、札幌で開催された国際交流展をはじめ、旭川でのアーティストユニオン・北海道シンポジウムや「2nd ロフト」など文化交流の場の開設に関わった作家など7名の作品を展覧。札幌や旭川で興った現代美術の動向の一端を当館収蔵作品や関連資料を通して紹介した。なかでも、川俣正が1983(昭和58)年に展開した一軒家に板材を張り巡らせるアートプロジェクト《PROJECT "TETRA HOUSE N-3 W-26" SAPPORO 1983》のマケット(模型)や大判写真は、来館者に大きなインパクトを与え好評を博した。52日間の会期で1,359人が来場した。

会 期：令和6年（2024年）1月18日（木）～3月17日（日）

主 催：北海道立旭川美術館

■主な新聞記事等

北海道通信 12/24, 1/17, 3/1

パリへ渡った画家たち 出品目録

No.	作家名	作品名	制作年	技法・材質	寸法
1	山口 健智	紙片など	1972(昭和47)	油彩・板	28.0×55.0
2	山口 健智	壁	1964(昭和39)頃	油彩・キャンバス	73.0×92.0
3	山口 健智	部屋の片隅	1976(昭和51)	油彩・板	91.0×72.8
4	山口 健智	小海老の静物	1976(昭和51)	油彩・板	54.0×65.0
5	武田 範芳	パリの街	1963(昭和38)	油彩・キャンバス	130.3×90.9
6	武田 範芳	セーヌ河畔	1968(昭和43)	油彩・キャンバス	145.5×112.1
7	武田 範芳	黄昏のパリ	1963(昭和38)	油彩・キャンバス	130.3×90.9
8	武田 範芳	或る夜	1965(昭和40)	油彩・キャンバス	146.6×89.7
9	松島 正幸	凍昏	1975(昭和50)	油彩・キャンバス	130.3×152.1
10	山田 正	丘の街	1930~1933 (昭和5~昭和8)	油彩・キャンバス	60.6×72.7
11	小野 州一	青の中の静物	1980(昭和55)	油彩・キャンバス	97.0×130.3
12	小野 州一	バラ色の風景(巴里)	1977(昭和52)	油彩・キャンバス	149.5×149.5
13	小野 州一	花とフルーツ	1990(平成2)	油彩・クレヨン・ 鉛筆・ボード	60.6×72.7
14	木原 康行	La Carte	1970(昭和45)	エッチング・紙	19.7×14.7
15	木原 康行	La Musique des spheres	1971(昭和46)	エッチング・紙	39.0×29.0
16	木原 康行	Ossature	1973(昭和48)	エッチング・紙	58.0×47.0
17	渡会 純价	乾杯	1976(昭和51)	エッチング・紙	25.9×19.9
18	上野 憲男	白いフィールド	1976(昭和51)	油彩・キャンバス	130.3×130.3

※作品はすべて当館蔵。

アートとデザインの空間 遠藤 享展 出品目録

No.	作家名	作品名	制作年	技法・材質	寸法
1	遠藤 享	(無題)	1954(昭和29)	泥絵具・紙	30.6×30.3
2	遠藤 享	(無題)	1954(昭和29)	クレヨン・泥絵具・紙	30.7×24.5
3	遠藤 享	(無題)	1955(昭和30)	水彩・墨・紙	37.5×25.0
4	遠藤 享	(無題)	1956(昭和31)	泥絵具・紙	紙寸55.0×38.5 イメージ寸35.0×25.5
5	遠藤 享	カレンダー	1960(昭和35)	泥絵具・紙	36.5×51.2
6	遠藤 享	(無題)	1961(昭和36)	印刷・紙	29.8×42.2
7	遠藤 享	(無題)	1962(昭和37)	印刷・紙	各28.0×29.8
8	山口 正城 (デザイン)	8mm映写機(サンキョウ・8Pプロ ジェクター/三協精機)	1950年代	鉄他	15.5×28.0×36.5

9	遠藤 享	旭山動物園ロゴマーク	1967(昭和42)	印刷・紙	24.0×23.0
10	遠藤 享	旭川市旭山動物園開園7月1日 (ポスター)	1967(昭和42)	印刷・紙	102.7×72.8
11	遠藤 享	(無題)	1977(昭和52)	オフセット印刷・紙	68.8×96.5 (紙寸) 58.5×80.0 (イメージ寸)
12	遠藤 享	オーディオテクニカポスター AT150E/G	1974(昭和49)	印刷・紙	36.4×51.5
13	遠藤 享	オーディオテクニカポスター AT-15Ea/G	1976(昭和51)	印刷・紙	36.4×51.5
14	遠藤 享	オーディオテクニカポスター AT-15Ea/G	1976(昭和51)	印刷・紙	36.4×51.5
15	遠藤 享	オーディオテクニカポスター AT-15Ea/G	1976(昭和51)	印刷・紙	36.4×51.5
16	遠藤 享	オーディオテクニカポスター point2F	1982(昭和57)	印刷・紙	36.4×51.5
17	遠藤 享	オーディオテクニカポスター ATH-B7	1988(昭和63)	印刷・紙	36.4×51.5
18	遠藤 享	オーディオテクニカカレンダー	1985(昭和60)	印刷・紙	76.0×35.0
19	遠藤 享	オーディオテクニカカレンダー	1988(昭和63)	印刷・紙	76.0×35.0
20	遠藤 享	オーディオテクニカカレンダー	1989(平成元)	印刷・紙	76.0×35.0
21	遠藤 享	オーディオテクニカカレンダー	1993 (平成5)	印刷・紙	76.0×35.0
22	遠藤 享	オーディオテクニカカレンダー	2015 (平成27)	印刷・紙	76.0×35.0
23	遠藤 享	オーディオテクニカカレンダー	2018(平成30)	印刷・紙	76.0×35.0
24	遠藤 享	オーディオテクニカカレンダー	2020 (令和2)	印刷・紙	76.0×35.0
25	遠藤 享	パッケージデザイン AT1100	—	印刷・紙	15.0×33.5×8.0
26	遠藤 享	パッケージデザイン AT150E/G	—	印刷・紙	10.0×10.0×5.0
27	遠藤 享	パッケージデザイン AT34E II	—	印刷・紙	10.0×10.0×5.0
28	遠藤 享	パッケージデザイン AT31E/G	—	印刷・紙	10.0×10.0×5.0
29	杉浦 康平 (表紙イラスト) 遠藤 享 (デザイン・図解)	耳で聴くステレオ・テスト・レコード	1966 (昭和41)	印刷・紙、レコード	18.0×18.0 (レコードケース) 19.0×19.0 (封筒)
30	遠藤 享	Adobe Photoshop	1991 (平成3)	印刷・紙	728×103.0
31	遠藤 享	EARTH CRICIS WOOD	1992 (平成4)	印刷・紙	728×103.0
32	遠藤 享	第14回コイズミ国際学生照明デザインコンペ	2001 (平成13)	印刷・紙	728×103.0
33	遠藤 享	第17回コイズミ国際学生照明デザインコンペ	2004 (平成16)	印刷・紙	728×103.0
34	遠藤 享	HIROSHIMA APPEALS 2011	2011 (平成23)	印刷・紙	728×103.0
35	遠藤 享 (カバーデザイン)	年鑑広告美術 (美術出版社発行)	1986 (昭和61)	印刷・紙	30.3×21.5×3.7

36	遠藤 享 (カバーデザイン)	軌跡・日経広告賞40年 (日本経済 新聞社発行)	1991 (平成3)	印刷・紙	29.7×21.0×3.6
37	遠藤 享	オリンパスネオンサイン オプト・インフィニットウェブ	2003 (平成15)	映像 (3分50秒)	—
38	遠藤 享	SPACE & SPACE <BOTTLE>	1979 (昭和54)	オフセットリトグラ フ・紙	45.0×45.0
39	遠藤 享	SPACE & SPACE <GLASS>	1980 (昭和55)	オフセットリトグラ フ・紙	45.0×45.0
40	遠藤 享	SPACE & SPACE <COMPASSES>	1981 (昭和56)	オフセットリトグラ フ・紙	45.0×45.0
41	遠藤 享	SPACE & SPACE <CAN AND APPLE>	1982 (昭和57)	オフセットリトグラ フ・紙	45.0×45.0
42	遠藤 享	SPACE & SPACE <BOTTLE III>	1982 (昭和57)	オフセットリトグラ フ・紙	45.0×45.0
43	遠藤 享	SPACE & SPACE <EGG AND EYE>	1983 (昭和58)	オフセットリトグラ フ・紙	45.0×45.0
44	遠藤 享	SPACE & SPACE <GLASS III>	1984 (昭和59)	オフセットリトグラ フ・紙	45.0×45.0
45	遠藤 享	SPACE & SPACE <GRAPE II>	1985 (昭和60)	オフセットリトグラ フ・紙	45.0×45.0
46	遠藤 享	版画集「北の調べ」SPACE & SPACE N-S5	1996 (平成8)	オフセットリトグラ フ・紙	17.5×25.0
47	遠藤 享	SPACE & SPACE/NATURE-0605	2006 (平成18)	オフセットリトグラ フ・紙	75.0×55.0
48	遠藤 享	SPACE & SPACE/NATURE-0704	2007 (平成19)	オフセットリトグラ フ・紙	75.0×55.0
49	遠藤 享	SPACE & SPACE/NATURE-0804	2008 (平成20)	オフセットリトグラ フ・紙	75.0×55.0
50	遠藤 享	SPACE & SPACE/NATURE-1003	2010 (平成22)	オフセットリトグラ フ・紙	55.0×75.0
51	遠藤 享	SPACE & SPACE/NATURE-1201	2012 (平成24)	オフセットリトグラ フ・紙	61.0×41.5
52	遠藤 享	SPACE & SPACE N1403	2014 (平成26)	オフセットリトグラ フ・紙	46.5×31.0
53	遠藤 享	SPACE & SPACE N1406	2014 (平成26)	オフセットリトグラ フ・紙	46.3×31.0
54	遠藤 享	SPACE & SPACE N1417	2014 (平成26)	オフセットリトグラ フ・紙	46.5×31.0
55	遠藤 享	SPACE & SPACE N1503	2015 (平成27)	オフセットリトグラ フ・紙	60.0×40.0
56	遠藤 享	SPACE & SPACE N1513	2015 (平成27)	オフセットリトグラ フ・紙	46.0×31.0
57	遠藤 享	SPACE & SPACE N2001	2020 (令和2)	オフセットリトグラ フ・紙	40.0×60.0
58	遠藤 享	SPACE & SPACE N2003	2020 (令和2)	オフセットリトグラ フ・紙	40.0×60.0
59	遠藤 享	SPACE & SPACE NS2004	2020 (令和2)	オフセットリトグラ フ・紙	31.0×46.5
60	遠藤 享	SPACE & SPACE NS2005	2020 (令和2)	オフセットリトグラ フ・紙	31.0×46.5

61	遠藤 享	SPACE & SPACE NS2013	2020 (令和2)	オフセットリトグラフ・紙	46.5×31.0
62	遠藤 享	SPACE & SPACE N2018	2020 (令和2)	オフセットリトグラフ・紙	40.0×60.0
63	遠藤 享	SPACE & SPACE NS2101	2021 (令和3)	オフセットリトグラフ・紙	31.0×46.5
64	遠藤 享	SPACE & SPACE NS2104	2021 (令和3)	オフセットリトグラフ・紙	31.0×46.5
65	遠藤 享	SPACE & SPACE N2204	2022 (令和4)	オフセットリトグラフ・紙	60.0×40.0
66	遠藤 享	SPACE & SPACE N2205	2022 (令和4)	オフセットリトグラフ・紙	40.0×60.0

※Nos. 1~7、Nos. 9~10、11~36、57~66は作家蔵。

※Nos. 8、38~56は当館蔵。なお、No. 10は7月27日より追加で展示した。

木の匠たち 伝統工芸から家具、クラフトまで 出品目録

No.	作家名	作品名	制作年	技法・材質	寸法
1	黒田 辰秋	神代樺彫文飾棚	1974 (昭和49)	樺 (埋もれ木)	148.0×44.0×91.0
2	村山 明	樺緋拭漆舟形盛器	2017 (平成29)	樺・拭漆	62.0×32.0×3.3
3	村山 明	樺拭漆水盤	2017 (平成29)	樺・拭漆	64.0×43.0×7.0
4	中臺 瑞真	桐手箱	1973 (昭和48)	桐	33.0×28.0×10.0
5	須田 賢司	楓嵌装箱一双「二都物語」	2010 (平成22)	楓・拭漆・カヒカテ ア・梨・ジリコテ・グ ラナディラ・白蝶貝・ パウア貝	各9.0×27.5×12.5 (一双)
6	須田 賢司	栃黒柿拭漆箱「籬」	1995 (平成7)	栃・黒柿・拭漆・金 具・組紐	35.5×15.4×9.9
7	須田 賢司	猷保梨造嵌装箱	1996 (平成8)	猷保梨・楓・桑・象 牙・銀・金具	31.7×11.6×18.8
8	須田 桑翠	菱文桑四方盆	1956 (昭和31)	桑・夜光貝	27.5×27.5×4.5
9	須田 桑翠	桐八角筥	1972 (昭和47)	桐・桑	30.5×30.5×9.0
10	須田 桑翠	黒柿短冊筥	1977 (昭和52)	黒柿・桑	39.0×9.2×11.5
11	小西 清	八角箱膳	1981 (昭和56)	樺・拭漆・金具	60.0×60.0×27.0
12	須田 桑翠	黒柿小箆筥	1979 (昭和54)	黒柿・桑・金具	16.5×16.0×20.0
13	須田 賢司	GORON! I	1981 (昭和56)	柿・桐	25.0×15.0×15.0
14	和田 伊三郎	桐亀甲寄木二輪筥	1981 (昭和56)	桐	16.0×50.0
15	野嶋 峰男	樺拭漆手箱	1987 (昭和62)	樺・拭漆	24.0×19.5×6.5
16	野嶋 峰男	樺拭漆下駄箱	1987 (昭和62)	樺・拭漆	17.0×22.3×9.3
17	デザイン: bkmdesign working group GrbR 制作: (榊匠工芸)	ビスサイド	デザイン: 2005 (平成17) / 制 作: 2006 (平成 18)	楕合板・メープル・金 属・電球 (ウレタン塗 装仕上げ)	126.5×29.0×30.5

18	デザイン：横田 哲郎 制作：(株)インテリアス	シーブ・チェア	デザイン：2008 (平成20) / 制作：2011 (平成23)	檜・成形合板 (オイル塗装仕上げ・ワックス塗装仕上げ)	69.1×69.0×54.0
19	吉田 幸男	神秘	1983 (昭和58)	檜 (埋もれ木)	90.0×46.0×92.5
20	中井 啓二郎	ワーキング・ストゥール	1983 (昭和58)	胡桃・樺・ローズウッド	30.0×30.0×57.0 他 (2点)
21	デザイン：中村 好文 制作：大門 巖	2006 君の椅子	2006 (平成18)	板屋楓・樺・胡桃・檜等	30.0×28.5×34.5
22	デザイン：伊藤 千織 制作：宮地 鎮雄	2007 君の椅子	2007 (平成19)	胡桃	33.0×28.0×31.0
23	デザイン：中村 好文 制作：大門 和真、 (株)匠芸	君の椅子 2015	2015 (平成27)	水檜	31.5×27.0×36.5
24	デザイン：中村 昇 制作：服部 勇二、 (株)匠芸	君の椅子 2017	2017 (平成29)	水檜	32.0×29.5×35.0
25	デザイン：坂本 茂 制作：アートクラフト・ハ ウ工房、(株)匠芸	君の椅子 2022	2022 (令和4)	水檜	26.9×26.5×41.3
26	白田 健二	木の葉のボウル	デザイン：2001 (平成13) / 制作：2008 (平成20)	胡桃・楓	35.0×27.0×7.0/30.0 ×22.0×6.0/24.0× 18.0×5.0
27	大門 巖	Wood powder box	1992 (平成4)	檜・桐・ブビンガー・ 楸・木の粉 (檜・黒 檀・花梨・榉の埋もれ 木・檀・ローズウッ ド・パドック・胡桃) (白木用ウレタン塗 装)	32.0×9.0
28	丹野 則雄	薬一ひこばえ	1992 (平成4)	黒柿・ローズウッド・ メイプル (ウレタンオ イル塗装) / 花梨・パ ドック・メイプル (ウ レタンオイル塗装)	14.0×13.0×7.0 他

※作品はすべて当館蔵。

北海道美術の1980年代一札幌・旭川に広がる現代美術ネットワーク 出品目録

No.	作家名	作品名	制作年	技法・材質	寸法
1	米谷 雄平	作品87-5	1987 (昭和62)	アクリル絵具・胡粉・紙	237.5×81.0
2	阿部 典英	オヨメサンガ23ノホクロ	1990 (平成2)	シナ・カラマツ・シラ カバ・セン・タケ・ア クリル絵具・ニス・黒 鉛・メジュウム	255.0×10.0×214.0
3	下村 朔朗	「アーティスト・ユニオン北海道 シンポジウム」ポスター	1976 (昭和51)	印刷・紙	

4	下村 朔朗	「美術館2ndロフト」ポスター (セカンドロフト・コミュニケー ション)	1979 (昭和54)	印刷・紙	
5	下村 朔朗	「TRANSMISSION ART NOW 発信」 ポスター	1981 (昭和56)	印刷・紙	
6	一ノ戸 ヨシノリ	WATER WORK E-851より	1985 (昭和60)	写真・キャンバス	180.0×323.0 他
7	荒井 善則	Soft Landing to Season 2018	2018 (平成30)	シルクスクリーン・モ ノタイプ・紙	60.0×80.3 他
8	真鍋 庵	「ネットワーク・フットワーク・ アートワーク CIRCULATION'85」 ポスター	1985 (昭和60)	印刷・紙	
9	真鍋 庵	「同時多発的美術現象化 CIRCULATION'85」ポスター	1985 (昭和60)	印刷・紙	
10	真鍋 庵	「CIRCULATION'85」記録動画 (旭川編)	1985 (昭和60)	映像 / 34分08秒	
11	川俣 正	「PROJECT “TETRA HOUSE N-3 W- 26” SAPPORO 1983」 「Photo Document 1」 (曾我 恵介撮影)	1983 (昭和58)	白黒写真パネル (マウント処理)	43.0×55.0
12	川俣 正	「PROJECT “TETRA HOUSE N-3 W- 26” SAPPORO 1983」 「Photo Document 2」 (曾我 恵介撮影)	1983 (昭和58)	白黒写真パネル (マウント処理)	43.0×55.0
13	川俣 正	「PROJECT “TETRA HOUSE N-3 W- 26” SAPPORO 1983」 「Photo Document 7」 (曾我 恵介撮影)	1983 (昭和58)	白黒写真パネル (マウント処理)	43.0×55.0
14	川俣 正	「PROJECT “TETRA HOUSE N-3 W- 26” SAPPORO 1983」 「Photo Document 4」 (曾我 恵介撮影)	1983 (昭和58)	白黒写真パネル (マウント処理)	43.0×55.0
15	川俣 正	「PROJECT “TETRA HOUSE N-3 W- 26” SAPPORO 1983」 全景	1983 (昭和58)	カラー写真パネル	135.0×205.0
16	川俣 正	「PROJECT “TETRA HOUSE N-3 W- 26” SAPPORO 1983」 「Working Note 1」 ドローイング	1983 (昭和58)	インク・鉛筆・紙	54.0×76.0
17	川俣 正	「PROJECT “TETRA HOUSE N-3 W- 26” SAPPORO 1983」 「Working Note 2」 ドローイング	1983 (昭和58)	インク・鉛筆・紙	53.0×75.0
18	川俣 正	「PROJECT “TETRA HOUSE N-3 W- 26” SAPPORO 1983」 マケット	1983 (昭和58) (1993年に補 彩、台を制作)	アクリル絵具・木	90.0×180.0×45.0
19	川俣 正	「PROJECT “TETRA HOUSE N-3 W- 26” SAPPORO 1983」 「Video Document」 (真鍋 庵撮影)	1983 (昭和58)	映像 / 36分	

資料

『SAPPORO TRIENNALE・1981・1984・1987』 図録 (発行：TODAY)	1990 (平成2)	印刷・紙
『美術ペン』No. 64 (発行：北海道フィルムアート)	1984 (昭和59)	印刷・紙

『美術旭川』No. 16 (発行人：平間フミ子／1981年7月1日)	1981 (昭和56)	印刷・紙
『美術旭川』No. 39 (発行人：平間 フミ子／1985年1月1日)	1985 (昭和60)	印刷・紙
『美術ペン』No. 51 (発行：北海道フィルムアート)	1981 (昭和56)	印刷・紙
『美術ペン』No. 80 (発行：北海道フィルムアート)	1988 (昭和63)	印刷・紙
『美術旭川』No. 25 (発行人：平間 フミ子／1983年1月1日)	1983 (昭和58)	印刷・紙
「アーティスト・ユニオン北海道シンポジウム」冊子 (発行：アーティスト・ユニオン北海道シンポジウム実行委員)	1976 (昭和51)	印刷・紙
『表現ロフト 美術館2ndロフトの記録1979/4—1980/10』 (発行：美術館2ndロフト運営委員会／1981年7月)	1981 (昭和56)	印刷・紙
『CIRCULATION' 85 北海道広域現代美術展・資料』 (発行：CIRCULATION' 85実行委員会／1996年5月1日)	1996 (平成8)	印刷・紙
『CIRCULATION' 85 北海道広域現代美術展・資料』より複製 佐藤 整 (札幌・マルサ会場での様子)	1996 (平成8)	印刷・紙
『CIRCULATION' 85 北海道広域現代美術展・資料』より複製 はしもと 努 (旭川・望岳台での様子)	1996 (平成8)	印刷・紙
『CIRCULATION' 85 北海道広域現代美術展・資料』より複製 藤井 忠行 (旭川・神居町での様子)	1996 (平成8)	印刷・紙
「CIRCULATION' 85」リーフレット	1985 (昭和60)	印刷・紙
『美術旭川』No. 41 (発行人：平間 フミ子／1986年1月1日)	1986 (昭和61)	印刷・紙

※作品・資料はすべて当館蔵。

4-3 貸展

貸館事業として、当館展示室を提供した。

創立 60 周年記念 書創展 併催 赤石蘭邦展

会 期：令和 5 年（2023 年）12 月 2 日（土）～12 月 10 日（日）

主 催：書創社

後 援：旭川市、北海道上川総合振興局、旭川市教育委員会、北海道新聞旭川支社、毎日新聞北海道支社、朝日新聞旭川支局

会 場：第 1 展示室

福瀬餓鬼 米寿記念 [書・墨彩・篆刻] 展

会 期：令和 6 年（2024 年）1 月 6 日（土）～1 月 14 日（日）

主 催：福瀬餓鬼 米寿記念「書・墨彩・篆刻」展実行委員会

会 場：第 2 展示室

5 教育普及事業

項目毎に、日時または期日、内容、講師、会場、聴講者または参加者数を記した。その他の場合は特記した。

(1) ワークショップ等

■工作アトリエ

夏休み期間中の小学生と保護者を対象に工作の機会を設け、子どもたちの美術や美術館への関心を高めるとともに、創作の楽しさを体験してもらった。第2展示室で開催中の「こころ・おどる・ものがたり」展の出品作家である堀川真氏を講師に招き、絵本『あかいじどうしゃ よんまるさん』にちなんで、牛乳パック等を用いた動く車のおもちゃを製作した。

夏休み工作アトリエ 2023 「すてきなじどうしゃ “〇〇さん” をつくろう！」

8月11日（金・祝）午後2時～4時、8月12日（土）午前10時～正午

講師：堀川 真氏（「こころ・おどる・ものがたり」展出品作家）、津田 しおり（学芸員）

会場：講堂、第1展示室（事前募集制、要観覧券）

参加料：1組1,000円（材料費、展覧会観覧料、保険代等を含む）

参加人数：計20名

■冬のウッディ★工作アトリエ 2024 「世界にたった一つの木琴をつくろう!!」

2月25日（日）午前10時～、午後2時～（各回約90分）

講師：北海道旭川農業高等学校森林科学科森林資源活用班、津田 しおり（学芸員）

会場：講堂、第1展示室（事前募集制、参加無料）

参加人数：計31名

■展覧会関連事業

以下の事業を展覧会に関連して行った。詳細は各頁を参照。



講演会等（p.5、22、42、43）



上映会&トーク（p.34）

(2) 博物館実習

学芸員資格取得を目指す学生を受け入れ、子ども向け普及事業への参加などを通じて、単位取得のみならず、美術館への理解を深めてもらうことを目的として行った。(実習生はレポート選考で決定)

8月8日(火)～8月12日(土) 5日間

実習生：2名(青山学院大学、北海道教育大学岩見沢校)

内 容：作品取り扱い実習、教育普及事業準備、資料整理

(3) 連携事業

●学校教育との連携事業

小学校、中学校、大学との連携により、学校教育における美術館の活用促進を図った。

■オンラインアート教室

出張アート教室に代わり、令和4年度から試行された。美術作品にふれる機会の少ない地域等における鑑賞機会の拡充や、子どもたちへの美術の理解促進を図るため、学芸員が主に Zoom によるオンラインで児童・生徒を対象に、わかりやすく鑑賞の手ほどきや美術作品に関する講義を行うことを目的とした。

9月6日(水)

実施校：札幌市立中沼小学校(4年生)

講師：当館学芸員

テーマ：「旭美探訪」

作品：デイヴィッド・ナッシュ 《十字形に焦がした卵》

参加人数：23名



9月7日(木)

実施校：砂川市立砂川中学校(1～3年生)

講師：当館学芸員

テーマ：「大きなたまごの魅力に迫る！」

作品：デイヴィッド・ナッシュ 《十字形に焦がした卵》

参加人数：32名

■「卒業制作発表」における講評

北海道おといねっぶ美術工芸高等学校より依頼を受けて、卒業制作発表に対して講評した。

1月25日(木)

講師：寺地 亜衣(学芸員)

会場：北海道おといねっぶ美術工芸高等学校

講評人数：美術コース18名

■教員のための鑑賞研修

上川管内の小中高等学校ならびに特別支援学校の教員を対象に、学芸員による解説と鑑賞の機会を設け、児童生徒の鑑賞の推奨に役立ててもらうことをねらった。例年特別展毎に実施しており令和5年度は4回行った。詳細は各展覧会関連事業の項目を参照。(事前募集制、参加無料)

参加人数：計23名

■旭川地域連携アートプロジェクト

例年、北海道教育大学旭川校(美術教育)・上川管内と旭川の中学校美術部顧問の教員・美術館(旭川市彫刻美術館、当館)の連携により行っているプロジェクト。令和5年度は「こころ・おどる・ものがたり」展、「遠藤享展」で鑑賞プログラムを実施した。

7月25日(火)～7月28日(金)、8月3日(木)～8月4日(金)

参加人数：計219名

主催：北海道立旭川美術館、上川旭川中学校美術部連携協議会、北海道教育大学旭川校、旭川地域連携アートプロジェクト

■キャンパス・パートナーシップ

道立美術館・博物館は大学等の教育機関と連携して芸術文化について学ぶ機会を拡充する「北海道立美術館・博物館キャンパス・パートナーシップ」制度を設けている。

利用者数：1名(北海道医学技術専門学校)

■旭川市中央図書館との連携事業

「旭川市中央図書館・北海道立旭川美術館コラボレーション」と題し、旭川市中央図書館と年間を通じて資料・情報の相互提供や講座実施等を行う連携事業を新たに立ち上げ、実施。その一環として、図書館講座を行った。

1月27日(土)午後1時30分～(約60分)

講師：藤原 乃里子(学芸課長)

会場：旭川市中央図書館2階視聴覚室

テーマ：「見て知って・楽しい木の造形」

参加人数：35名

(4) ボランティア活動

1982(昭和57)年の開館時から、ボランティア常磐会によるボランティア活動が行われている。主な内容は喫茶「常磐の樹」ならびにミュージアム・ショップ(常設、特設)の運営。活動員数は約50名。

(5) 協力事業

■小中学校の総合的な学習への対応

小中学校における総合的な学習のために美術館を活用したいという要請に対応した。

■施設見学

美術館に対する理解を深め、地元への愛着や誇りを持つことにつながるよう施設見学の受入を行った。

6月2日（金）

実施校：旭川市立新富小学校（3年生）

講師：津田 しおり（学芸員）

内容：美術館についての説明及び展示観覧

参加人数：61名



6月13日（火）

実施校：旭川市立新町小学校（2年生）

講師：津田 しおり（学芸員）

内容：美術館についての説明及び展示観覧

参加人数：13名

■出前講座

希望する学校や団体での会合における講座の要請に対応した。

5月9日（火）

団体名：旭川西ロータリークラブ

講師：寺地 亜衣（学芸員）

内容：「笠間日動美術館コレクション 魅惑の西洋近代絵画」展について紹介

参加人数：30名



7月13日（木）

団体名：北海道医学技術専門学校

講師：藤原 乃里子（学芸課長）

内容：美術館と年間展覧会について紹介

参加人数：33名



3月8日（金）

団体名：旭川ロータリークラブ

講師：藤原 乃里子（学芸課長）

内容：次年度の年間展覧会について紹介

参加人数：42名

6 美術作品の収集

■令和5年度の作品収集について

当館は「道北の美術」と「木の造形」を作品収集の大きな柱としている。
 本年度はその二つの柱の両方に関わる作品として、宇治市を拠点に活動する木工作家・朝倉亨がデザインを、東川町の家具工房木魂と東神楽町の匠工芸が制作を手がけた《君の椅子2023》が、「君の椅子」プロジェクトより寄贈された。2006（平成18）年に始まった同プロジェクトから、当館ではこれまで《君の椅子》全モデルを受贈いただいております。本作で19点目の収蔵となった。いずれのモデルも、国内外で活躍するデザイナーと旭川地域の職人との協働によって生み出される優れた造形美、機能性を備えるとともに、新しい生命の居場所としての椅子の作り手、受け手の思いを重視するプロジェクトの確かな足取りが概観できる一連のコレクションをなしている。
 また「道北の美術」に関わる作品として、遠藤亨デザインによる旭山動物園開園時のポスターが、第2展示室で本年7月から9月にかけて開催した「遠藤亨展」をきっかけに、作家の長男でグラフィックデザイナーの遠藤悦郎氏から寄贈された。作家初期のデザイン分野での仕事の一点であり、旭川と作家との絆を物語る貴重な資料として収蔵した。
 本年度の受贈により、総作品数は758点、資料127点となった。

■令和5年度作品収集状況

分野	令和4年度末 作品収蔵数	令和5年度作品収集数			作品総数
		購入	受贈	合計	
油彩	175 (23.1%)	0	0	0	175 (23.1%)
日本画	18 (2.4%)	0	0	0	18 (2.4%)
水彩・素描	174 (23.0%)	0	0	0	174 (22.9%)
書	0 (0.0%)	0	0	0	0 (0.0%)
版画	141 (18.6%)	0	0	0	141 (18.6%)
彫塑	143 (18.9%)	0	0	0	143 (18.9%)
工芸	104 (13.7%)	0	1	1	105 (13.8%)
写真	2 (0.3%)	0	0	0	2 (0.3%)
デザイン	0 (0.0%)	0	0	0	0 (0.0%)
その他	0 (0.0%)	0	0	0	0 (0.0%)
合計	757 (100%)	0	1	1	758 (100%)

注) () 内の数字は、小数点第二位まで求め、四捨五入して記載した。

資料作品

分野	令和4年度末 資料作品収蔵数	令和5年度資料作品収集数			資料作品総数
		購入	受贈	合計	
油彩	1	0	0	0	1
日本画	0	0	0	0	0
水彩・素描	111	0	0	0	111
書	2	0	0	0	2
版画	4	0	0	0	4
彫塑	1	0	0	0	1
工芸	1	0	0	0	1
写真	0	0	0	0	0
デザイン	2	0	1	1	3
その他	4	0	0	0	4
合計	126	0	1	1	127

■令和5年度作品収集一覧

受贈作品一覧

所蔵作品番号	分野	作家名	作品名	制作年	技法・材質	寸法 (cm)
2023001	工芸	デザイン：朝倉 亨 制作：家具工房 木魂、(株)匠工芸	君の椅子 2023	2023(令和5)	ミズナラ	高35.0×幅24.0×奥行40.0
シ00127	資料 (デザイン)	遠藤 享	旭川市旭山動物園 開園7月1日	1967(昭和42)	印刷、紙	縦102.7×横72.8

作品目録

凡例

1. この目録には、令和5年4月1日から令和6年3月31日までに、北海道立旭川美術館に収蔵された作品を収録した。
2. 各作品は作者名によって次の通り分類した。
木の造形
資料作品
各作品のデータ記載事項と順序は次の通りである。
作家名、同英文、生没年、作品名、同英文、制作年、技法・材質、寸法、収集の経緯、所蔵番号。
3. データ記載事項のうち、該当事項のないものは表記を省略した。
4. 寸法は、センチメートルを単位とし、立体作品は高さ×幅×奥行、平面作品は縦×横の順に記載した。

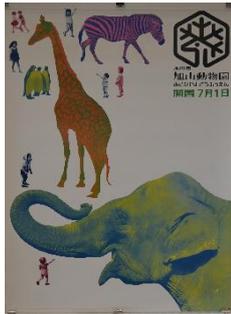
木の造形 Art in Wood



デザイン：朝倉 亨
制作：家具工房 木魂、(株)匠芸
Make by ASAKURA Toru, Furniture Studio
Kodama, TAKUMI KOHGEI Co.,Ltd

君の椅子 2023
A Chair Just for You 2023: On-going Project to
Make Chairs for Newborns

2023(令和5)
ミズナラ
35.0×24.0×40.0
君の椅子プロジェクト代表 磯田 憲一氏より受贈
2023001



遠藤 享
ENDO Susumu
(1933~2024)

旭川市旭山動物園開園7月1日
Asahiyama Zoo will Open on July 1st

1967(昭和42)
印刷、紙
102.7×72.8
遠藤 悦郎氏より受贈
シ00127

7 美術作品の修復・貸出

(1) 美術作品の修復

令和5年度は実施なし。

(2) 美術作品の貸出

貸出先、作家・作品名、貸出期間、目的（会場）の順に記載した。

■あさひかわデザインウィーク実行委員会、有限会社エフ・ドライブデザイン

吉田 幸男 1点

《神秘》

令和5年6月9日（金）～令和5年7月11日（火）

「家具職人吉田幸男展」出品（palemta shop & gallery）

会期：令和5年6月10日（土）～令和5年7月6日（木）

8 資料・情報

図書資料の収集

内訳	分類	令和4年度末	令和5年度	計
図書	A00	117	0	117
	A01	60	0	60
	A02	366	0	366
	A03	190	1 (1)	191
	A04	65	1 (1)	66
	A05	154	2	156
	A06	269	0	269
	A07	43	0	43
	A08	1,428	0	1,428
	A09	99	0	99
	A10	343	0	343
	A20	1,393	2 (2)	1,395
	A30	233	1 (1)	234
	A40	178	0	178
	A50	359	0	359
	A60	519	0	519
	000～900	720	5 (5)	725
	E	483	1 (1)	484
	CD	45	0	45
	DVD	17	1	18
VHS	4	0	4	
小計		7,085	14 (11)	7,099
資料[図録・古書雑誌等]		28,167	474 (448)	28,641
合計		35,252	488 (459)	35,740

* () 内は寄贈図書

図書分類表

分類記号	
A00	美術一般
A01	美術理論
A02	美術史
A03	書誌・辞典・便覧・名簿
A04	論文・講演集・美術評論
A05	年鑑
A06	美術館博物館・博物館学・保存修復
A07	美術教育
A08	美術全般の全集・叢書
A09	文化財・国宝
A10	彫刻・立体一般、日本彫刻・立体、東洋彫刻・立体、西洋彫刻・立体、彫刻・立体の材料・技法
A20	絵画一般、日本絵画、東洋絵画、西洋絵画、絵画の材料・技法、書蹟
A30	版画一般、日本版画、東洋版画、西洋版画、版画の材料・技法
A40	映像一般、映画、写真、映像機械・技法
A50	工芸一般、陶磁、ガラス、染織、木・漆工、金工(刀剣・鉄砲)、その他の工芸
A60	デザイン一般、グラフィックデザイン、インテリアデザイン、建築、その他のデザイン
000～900	一般図書(総記、哲学、歴史、社会科学、自然科学、技術・工学・工業、産業、芸術、言語、文学)
E	絵本
CD	CD-ROM
DVD	DVD
VHS	VHS

図書閲覧・刊行物

■図書閲覧

ロビーの図書コーナーに、開催中の展覧会に関連した書籍や図録等を配架し、閲覧に供した。その他の図書の閲覧希望や美術に関する質問には、随時対応した。

■刊行物

[令和6年度ミュージアムカレンダー（事業案内）]

縦 21.5×横 37.0 cm 四つ折り

OK マットコート 100 110 kg

両面カラー4色 45,000部 令和6年3月発行

デザイン：株式会社 20 パーセント

製 作：株式会社中西印刷



[令和4年度年報]

*当館ホームページにおいて公開



[旭川美術館だより『氷華』No. 66]

A4 縦 8頁（カラー8頁）ミューマット 90 kg

1,200部 令和6年3月発行

製 作：株式会社総北海

内 容：

展覧会報告「こころ・おどる・ものがたり」／藤原 乃里子（学芸課長）

展覧会報告「アートとデザインの空間 遠藤享展」／寺地 亜衣（学芸員）

道北の美術 29 佐藤 道雄氏／藤原 乃里子（学芸課長）

*上記はすべて当館編集・発行。

*展覧会関係の広報印刷物については、各展覧会の頁を参照。

■特別観覧

当館所蔵の作品等や写真資料について、印刷物への掲載やインターネット上の公開を目的とした写真や画像データの借用希望、所蔵作品の熟覧、所蔵品展の会場撮影があった場合に、特別観覧として対応した。令和5年度は8件の特別観覧があった。

■データベース

令和4年度までの収蔵作品ならびに資料作品について、データベース化を完了した。

■インターネット上の情報提供

当館ホームページおよびエックス（旧ツイッター）において、展覧会や教育普及事業等に関する情報を随時更新しながら提供した。令和 5 年 3 月から新たにインスタグラムアカウント(asahikawa_art)を開設した。

9 利用者数一覧等

(1) 令和5年度 観覧者数一覧

展覧会名	開催要項 (開催日数)	観覧者数 (一日平均)	有料									無料	
			個人①				団体②／前売③				小計	免除 招待	
			一般	高大生	小中生	計	一般	高大生	小中生	計	①+②+③		
特別展	魅惑の西洋近代絵画 (62 日)	14,326 (231 人)	6,175	215	25	6,415	4,296	144	128	4,568	10,983	3,343	
	こころ・おどる・ものがたり (56 日)	3,985 (71 人)	1,356	121	36	1,513	500	43	172	715	2,228	1,757	
	竹久夢二展 (51 日)	9,757 (191 人)	3,166	93	/	3,259	4,218	64	/	4,282	7,541	2,216	
	蔵出し！木彫の味わい (60 日)	1,884 (31 人)	684	92	/	776	96	25	/	121	897	987	
	小計 (229 日)	29,952 (131 人)	11,381	521	61	11,963	9,110	276	300	9,686	21,649	8,303	
所蔵品展	パリへ渡った画家たち (62 日)	7,666 (124 人)	2,862	142	/	3,004	285	16	/	301	3,305	4,361	
	遠藤享展 (56 日)	3,017 (54 人)	894	99	/	993	100	26	/	126	1,119	1,898	
	木の匠たち (59 日)	4,417 (75 人)	755	48	/	803	157	47	/	204	1,007	3,410	
	北海道美術の1980年代 (52 日)	1,359 (26 人)	509	62	/	571	40	23	/	63	634	725	
	小計 (229 日)	16,459 (72 人)	5,020	351	/	5,371	582	112	/	694	6,065	10,394	
合計	8 回 (229 日)	46,411 (203 人)	16,401	872	61	17,334	9,692	388	300	10,380	27,714	18,697	

※ 観覧者数（内訳）のうち、斜線欄の人数は、「無料（免除・招待）」に含む（内数）

(2) 令和5年度 教育普及事業実施状況・利用者数一覧

■教育普及事業実施状況

◆講演会等

展覧会名	タイトル・内容等	開催日	場所	講師名等	人数
笠間日動美術館コレクション 魅惑の西洋近代絵画 モネ、ルノワールからピカソ、マティスまで	「知られざる画家の素顔 思い出の作品たち」	5月27日(土)	講堂	長谷川 徳七氏(笠間日動美術館長) 長谷川 智恵子氏(笠間日動美術館副館長)	44
アートとデザインの空間 遠藤享展	「遠藤享 自作を語る—制作サポートの視点から—」	7月8日(土)	講堂	遠藤 悦郎氏(グラフィックデザイナー)	44
竹久夢二展 ～憧れの欧米への旅～	「夢二・4人の恋人たち」	10月7日(土)	講堂	中右 瑛氏(本展監修者、国際浮世絵学会常任理事)	51
木の匠たち 伝統工芸から家具、クラフトまで	「人間国宝 村山明一私と木工芸」	10月21日(土)	講堂	村山 明氏(本展出品作家、重要無形文化財「木工芸」保持者[人間国宝])	33
	「人間国宝 須田賢司—清雅を標に」	11月4日(土)	講堂	須田 賢司氏(本展出品作家、重要無形文化財「木工芸」保持者[人間国宝])	38
蔵出し! 木彫の味わい	上映会&トーク 「音威子府を語る」	2月24日(土)	講堂	映像出演: デイヴィッド・ナッシュ氏(彫刻家)、砂澤 涼子氏(砂澤ピッキ夫人) 講師: 中村 聖司氏(北海道立近代美術館学芸副館長)	54

小計 264

◆解説等

関連展覧会	タイトル・内容等	開催日	場所	講師名等	人数	
笠間日動美術館コレクション 魅惑の西洋近代絵画 モネ、ルノワールからピカソ、マティスまで	30分でわかる! 学芸員の見どころ解説	5月20日(土)	講堂	寺地 亜衣(学芸員)	28	
		6月3日(土)			20	
こころ・おどる・ものがたり～ 絵本原画・本の宝石・おもちゃ・アート～	デモンストレーション(作品をひらく)	7月14日(金)	第1展示室	藤原 乃里子(学芸課長)	9	
		8月18日(金)			8	
竹久夢二展 ～憧れの欧米への旅～	中右 瑛氏ギャラリートーク	10月6日(金)	第1展示室	中右 瑛氏(本展監修者、国際浮世絵学会常任理事)	27	
	マダムケロコと学芸員のギャラリートーク	10月12日(木)	第1展示室	マダムケロコ氏(FMリベラーパーソナリティ)、津田 しおり(学芸員)	8	
		11月2日(木)			20	
	30分でわかる! 学芸員の見どころ解説	9月24日(日)				16
		11月10日(金)	講堂	津田 しおり(学芸員)	19	
		11月18日(土)			19	
蔵出し! 木彫の味わい	彫刻の魅力発見! 子ども鑑賞ツアー	1月12日(金)	講堂	寺地 亜衣(学芸員)	3	
		3月9日(土)			16	
		1月19日(金)				7
	学芸員によるギャラリートーク	2月16日(金)	第1展示室	寺地 亜衣(学芸員)	6	
		3月15日(金)				13

小計 219

◆オリエンテーション

事業名	内容	開催日	会場	講師名	人数等
団体オリエンテーション	予約団体への展覧会解説	特別展等の開催期間	講堂	各展覧会担当学芸員	31件 690人
小計					690

◆ワークショップ等

事業名	タイトル・内容等	開催日	場所	講師名等	人数
夏休み工作アトリエ	夏休み工作アトリエ2023「すてきなじどうしゃ“〇〇さん”をつくろう!!」	8月11日(金・祝)	講堂 第1展示室	堀川 真氏(「こころ・おどる・ものがたり」展出品作家) 津田 しおり(学芸員)	7
		8月12日(土)			13
冬のウッディ★工作アトリエ	冬のウッディ★工作アトリエ2024「世界にたった一つの本琴をつくろう!!」	2月25日(日)	講堂 第1展示室	北海道旭川農業高等学校森林科学科森林資源活用班、津田 しおり(学芸員)	31
その他	絵本の読み聞かせ会	7月29日(土)	ロビー	絵本サークルのはな 絵本サークルぼわぼわ	午前 16 午後 18
		8月26日(土)		絵本サークルまほうのて 絵本サークル赤いてぶくろ	午前 26 午後 15
	朗読会	9月9日(土)	ロビー	塩尻 曜子氏(旭川美術振興会副会長)	午前 19 午後 16
	お茶会	10月29日(日)	ロビー	表千家同門会旭川支部・旭川地区青年部	195
小計					356

◆特別イベント

関連展覧会	タイトル・内容等	開催日	場所	講師名等	人数
竹久夢二展 ～憧れの欧米への旅～	コンサート 「マンドリンとギターのしらべで聴く大正ロマンの世界」	10月14日(土)	ロビー	高瀬 善朗氏(マンドリン) 安田 敏宏氏(ギター)	148
小計					148

◆学校教育との連携・協力事業

事業名等	タイトル・内容等	開催日	場所	講師名等	人数等
教員のための鑑賞研修	「魅惑の西洋近代絵画」	6月10日(土)	講堂	寺地 亜衣(学芸員)	14
	「こころ・おどる・ものがたり」	8月4日(金)		藤原 乃里子(学芸課長)	2
	「竹久夢二展」	11月11日(土)		津田 しおり(学芸員)	6
	「蔵出し!木彫の味わい」	1月11日(木)		寺地 亜衣(学芸員)	1
オンラインアート教室	「旭美探訪」	9月6日(水)	ロビー等	藤原 乃里子(学芸課長) 寺地 亜衣(学芸員) 津田 しおり(学芸員)	23
	「大きなたまごの魅力に迫る!」	9月7日(木)		津田 しおり(学芸員)	32
旭川地域連携アートプロジェクト	「こころ・おどる・ものがたり」展及び「遠藤享展」	7月25日(火)	講堂 第1展示室 第2展示室	南部 正人氏(北海道教育大学旭川校)他	29
		7月26日(水)			33
		7月27日(木)			61
		7月28日(金)			26
		8月3日(木)			34
		8月4日(金)			36
出前授業	キャンパス・パートナーシップメンバー校や依頼のあった外部団体合で出前授業を行った。	5月9日(火)	旭川西ロータリークラブ	寺地 亜衣(学芸員)	30
		7月13日(木)	北海道医学技術専門学校	藤原 乃里子(学芸課長)	33
		3月8日(金)	旭川ロータリークラブ		42
「卒業制作発表」における講評	北海道おといねっふ美術工芸高等学校より依頼を受けて、卒業制作発表に対する講評に取り組んだ。	1月25日(木)	北海道おといねっふ美術工芸高等学校	寺地 亜衣(学芸員)	18
図書館講座	充実した学習機会の創出、地域文化の振興を目的に、近隣の図書館と連携事業に取り組み、その一環として講座を行った。	1月27日(土)	旭川市中央図書館	藤原 乃里子(学芸課長)	35
キャンパス・パートナーシップ	道立美術館・博物館が大学等の教育機関と連携して芸術文化について学ぶ機会を拡充する。	通年	第2展示室	北海道医学技術専門学校	1

小計 410

■事業利用者数一覧

事業名	回数	利用者数
講演会等	6	264
解説等	15	219
オリエンテーション	31	690
ワークショップ等	10	356
特別イベント	1	148
学校連携・協力事業	18	410
合計	81	2,087

(3) 令和5年度予算・名簿

【令和5年度予算額】

(単位:千円)

教育総務費		439
	美術館協議会運営費	335
	事務局運営費	104
社会教育費		119,176
	展覧会事業費	17,883
	直接支払分	12,583
	負担金	5,300
	教育普及活動費	72
	調査研究資料収集費	364
	親子ふれあい芸術体験事業費	102
	維持運営費	100,164
	事業運営費	591
合計		119,615

【北海道立旭川美術館協議会委員名簿】(令和6年3月31日現在)

区分	氏名	性別	所属団体等(任用時)	新任・再任の別
学校教育関係者	中村 欣也	男	当麻町教育委員会	新任
	浅野 智子	女	旭川市立西神楽小学校	新任
	◎伊東 義晃	男	上川教育研修センター	新任
社会教育関係者	両瀬 涉	男	上川管内社会教育委員連絡協議会	新任
	津辻 としえ	女	旭川美術館ボランティア常磐会	新任
	千葉 幸恵	女	朔北美術協会	再任
	彦野 優佳	女	画家	再任
学識経験者	○大石 朋生	男	北海道教育大学	再任
	村中 一徳	男	比布町	再任
家庭教育向上活動者	本間 公浩	男	旭川市PTA連合会	再任
公募	坂井 寿香	女	公募	新任
	橋場 麻智子	女	公募	新任

◎会長 ○副会長 任期:令和4年6月10日から令和6年6月9日まで

【北海道立旭川美術館職員名簿】(令和5年4月1日現在)

職名	氏名	発令年月日
館長(非常勤)	野上 義秀	令和5年4月1日
副館長兼総務課長	居弥口 靖博	令和4年4月1日
主査	目黒 真沙美	令和3年4月1日
主事	藤原 航	令和4年4月1日
学芸課長	藤原 乃里子	令和5年4月1日
学芸員	寺地 亜衣	令和5年4月1日
学芸員	津田 しおり	令和4年4月1日
主事(非常勤)	野澤 陽子	平成元年4月1日
主事(非常勤)	成田 孝子	平成4年11月1日
主事(非常勤)	佐野 裕美	平成10年4月1日
主事(非常勤)	上野 由記子	平成12年4月1日

(4) 沿革

1977(昭和52)年	7月 北海道発展計画(昭和53～62年)で公立美術館設置計画を策定
1979(昭和54)年	7月 道立地方美術館設置調査費を計上、道立地方美術館建設検討会発足 9月 道立地方美術館設置専門家会議発足 10月 北海道文化振興審議会に道立地方美術館設置構想を報告 11月 道立地方美術館設置基本構想を策定、第1号館を旭川市内定
1980(昭和55)年	3月 道立旭川美術館(仮称)設計、建築費を計上 6月 道立旭川美術館(仮称)建築基本設計完了 8月 道立旭川美術館(仮称)建築実施設計完了 10月 道立旭川美術館(仮称)工事着工(10/17)
1981(昭和56)年	12月 道立旭川美術館(仮称)工事竣工(12/7 2,558㎡)
1982(昭和57)年	4月 北海道立美術館条例の一部改正(4/5 条例第17号)により、「北海道立旭川美術館」を設置 初代館長 秋山操 7月 美術館落成式・開館記念式典、一般公開(7/24)
1987(昭和62)年	6月 2代目館長 磯部保 7月 開館5周年記念(7/24)
1990(平成2)年	3月 第2収蔵庫増築工事竣工(154㎡) 9月 観覧者50万人(9/20)
1992(平成4)年	4月 3代目館長 高橋洋 11月 常設展示室工事竣工(241㎡) 開館10周年記念式典、常設展示室落成式、常設展示室一般公開(11/13)
1996(平成8)年	4月 4代目館長 飯島修 所蔵品展及び常設展の小・中・高校生の無料化実施
1998(平成10)年	8月 観覧者100万人達成(8/12)
2000(平成12)年	4月 5代目館長 佐藤武
2002(平成14)年	10月 開館20周年記念式典(10/26)
2004(平成16)年	4月 所蔵品展及び常設展の高校生有料化、ただし土曜日並びにこどもの日及び文化の日は無料
2006(平成18)年	4月 6代目館長 金丸浩一 7月 観覧者150万人達成(7/28)
2012(平成24)年	4月 7代目館長 菅沼肇 11月 観覧者200万人達成(11/2) 開館30周年記念式典(11/16)
2018(平成30)年	4月 8代目館長 梶浦仁
2022(令和4)年	7月 開館40周年記念(7/24)
2023(令和5)年	4月 9代目館長 野上義秀 8月 観覧者250万人達成(8/16)

(5) 建築設備概要

■建築概要

位 置	旭川市常磐公園内
基 本 設 計	田上+北海道日建、建設共同企業体
実 施 設 計	田上+北海道日建、建設共同企業体
工 事 施 工	伊藤・盛永共同企業体
総 工 費	12億6千162万9千円
工 期	起工 昭和55年10月17日 竣工 昭和56年12月7日
敷 地 面 積	4,320㎡
建 築 面 積	3,127㎡
構 造 概 要	鉄筋コンクリート造（一部鉄骨鉄筋コンクリート造）
仕 上	外装： 外装 磁器タイル（3丁掛）張り 屋上 アスファルト防水のコンクリート コテ押工 内装： 床 磁器質タイル張り及び塩ビタイル張り （展示室 ゴムタイル張り） 壁 磁器タイル（ボード）張り、軽量鉄骨下地、石コウ ボードクロス張り 天井 岩綿吸音板張り（AEP）

■設備概要

[電気設備]		[機械設備]	
受 変 電 設 備	受電電圧 6KV 変圧器容量 450KVA	空 気 調 和 設 備	展示室 夏 24℃±1℃ 55%±3% 冬 23℃±1℃ 55%±3% 収蔵庫及び 展示ケース内 年間22℃±1℃ 55%±3%
発 電 設 備	ディーゼル機関 59PS 3,000rpm 発電機 43KVA 3相交流	吸収式冷凍機	冷／302,720Kcal/hr 暖／252,840Kcal/hr
常 設 展 示 室	ディーゼル機関 42PS 3,000rpm 発電機 30KVA 3相交流	チラー冷凍機	冷房専用時 冷／104,500kcal/hr 冷暖房時 冷／91,200kcal/hr
動 力 設 備	消防用電力 排煙機18.5KW1台 消化ポンプ7.5KW1台 一般用電力 合計233.1KW47台	チラー冷凍機	95,000～106,000kcal/hr 冷房専用（空冷式）
常 設 展 示 室	消防用電力 排煙機7.5KW1台 一般用電力 合計286.35KW62台	低圧蒸気ボイラー	643,000kcal/hr
電 灯 設 備	特別展示室 直管LEDランプ 高演色形 Ra95 4,000ケルビン ロビー 埋込形LEDダウンライト Ra85 3,000ケルビン 常設展示室 直管LEDランプ 高演色形 Ra95 4,000ケルビン 講堂 埋込形蛍光灯器具 200～400ルクス	空気調和器	特別展示室 1系統 常設展示室 1系統 第1収蔵庫 1系統 第2収蔵庫 1系統 展示ケース 1系統 講堂 1系統 ロビーホール 1系統
電 話 設 備	釘電話機 自動式	給 水 設 備	市水道使用（飲用水、雑用水、消火用水）
放 送 設 備	壁掛形防災アンプ 120W	消 火 設 備	屋内消火栓11カ所 ハロンガス消火設備（特別展示室、常設展示室 展示ケース、第1収蔵庫、第1収蔵庫前室、第2 収蔵庫）
テレビ共聴設備	U.Vアンテナ各1組、ユニット5個		
火災報知設備	P1級複合盤 50回路		
視 聴 覚 設 備	16mm映写設備 一式 スライド映写設備（テープ同調機構付）一式 ビデオプロジェクター 一式 VTR編集設備 一式 スライドボックス 一式		

(6) 利用案内

■開館時間

9:30～17:00(入場は 16:30 まで)

■休館日

月曜日(祝日または振替休日の時は開館、翌火曜日が休館)、年末年始(12月29日～1月3日)、展示替期間等。

■アクセス

徒 歩：JR 旭川駅から約 20 分。

バ ス：JR 旭川駅北側の 1 条通の 14 番バス停 (1 条 8 丁目) から、3・24・33 番のバスに乗車。もよりのバス停は「4 条 4 丁目」(3・33 番)、徒歩 5 分。または「8 条西 1 丁目」(24 番)、徒歩 3 分。また、「常磐公園前」を経由するバスも利用可能。バス停から徒歩 7 分。

タクシー：JR 旭川駅前から約 10 分。

駐 車 場：常磐公園駐車場(市営／無料／9:00～17:00)利用可能。台数に限りあり。